

令和6年度 孤独・孤立対策強化月間における取組概要

孤独・孤立対策強化月間HP
https://www.notalone-cas.go.jp/category/monthly/



- 「孤独・孤立に至っても支援を求める声を上げやすい、声をかけやすい社会」に向けた取組として、毎年5月を「孤独・孤立対策強化月間」とし、集中的な広報・啓発活動を実施。(孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム分科会の検討成果)
- 初の本格実施となる本年は、社会全体で孤独・孤立対策に関する理解浸透や機運醸成を図るため、全ての国民を対象とした広報・イベントを展開する。

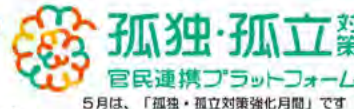
広報

広報ポスター・ロゴ



- ▶ 幅広い年代や性別に親しみやすいデザインで、孤独・孤立対策が目指す社会像について周知・啓発
全国の自治体、PF※会員団体、各交通事業者での掲示やSNSでの発信にて展開

- ▶ PF※会員へ月間ロゴマークの活用を呼びかけ



※PF：孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム

5月は、「孤独・孤立対策強化月間」です

月間特設Webページ

- ▶ 孤独・孤立の問題の啓発、支援・相談窓口を探せるチャットボットの紹介、月間中に全国各地で行われる取組の紹介等を行う月間特設Webページを開設

SNS広告、検索連動広告

Facebook、Instagram、X、YouTube、等において、広告を配信

Google、Yahoo!で関連ワードを検索した方に月間ページへの誘導バナーを表示



相談窓口・イベント

孤独・孤立相談ダイヤル#9999

- ▶ 統一的な相談窓口体制の推進に向けた試行事業である孤独・孤立相談ダイヤルを5月2日～7日で開設

メタバース空間におけるイベント

2Dのメタバース空間を活用し、孤独・孤立対策の周知啓発などを目的とした各種イベントを実施

「孤独・孤立相談ダイヤル」の開設期間中は、メタバース上でも悩みを抱える当事者の相談を受け付ける



- ▽ 期間中には「つながりサポーター養成講座」や「NPO向けファンドレイジング講座」等のセミナーも開催する



jfra
日本ファンドレイジング協会

セミナー開催



相談窓口



取組紹介コーナー



【メタバース開設期間】令和6年5月1日(水)～5月31日(金) 午前10時～午後6時
※5月2日(木)～6日(月)は相談窓口の受付時間に合わせて開設時間を延長予定

令和6年度 孤独・孤立対策強化月間における取組概要

- 「孤独・孤立に至っても支援を求める声を上げやすい、声をかけやすい社会」に向けた取組として、毎年5月を「孤独・孤立対策強化月間」とし、集中的な広報・啓発活動を実施。(孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム分科会の検討成果)
- 初の本格実施となる本年は、社会全体で孤独・孤立対策に関する理解浸透や機運醸成を図るため、全ての国民を対象とした広報・イベントを展開する。

資料4

孤独・孤立

<https://www.notalone-cas.go.jp/category/monthly/>



孤独・孤立に寄り添う
光の妖精
ヒカリ

広報

広報ポスター・ロゴ



- ▶ 幅広い年代や性別に親しみやすいデザインで、孤独・孤立対策が目指す社会像について周知・啓発
全国の自治体、PF※会員団体、各交通事業者での掲示やSNSでの発信にて展開

- ▶ PF※会員へ月間ロゴマークの活用を呼びかけ



5月は、「孤独・孤立対策強化月間」です

※PF：孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム

月間特設Webページ

- ▶ 孤独・孤立の問題の啓発、支援・相談窓口を探せるチャットボットの紹介、月間中に全国各地で行われる取組の紹介等を行う月間特設Webページを開設

SNS広告、検索連動広告

Facebook、Instagram、X、YouTube、等において、広告を配信

Google、Yahoo!で関連ワードを検索した方に月間ページへの誘導バナーを表示



相談窓口・イベント

孤独・孤立相談ダイヤル#9999

- ▶ 統一的な相談窓口体制の推進に向けた試行事業である孤独・孤立相談ダイヤルを5月2日～7日で開設

メタバース空間におけるイベント

2Dのメタバース空間を活用し、孤独・孤立対策の周知啓発などを目的とした各種イベントを実施

「孤独・孤立相談ダイヤル」の開設期間中は、メタバース上でも悩みを抱える当事者の相談を受け付ける



- ▽ 期間中には「つながりサポーター養成講座」や「NPO向けファンドレイジング講座」等のセミナーも開催する



jfra
日本ファンドレイジング協会

セミナー開催



相談窓口



取組紹介コーナー



【メタバース開設期間】 令和6年5月1日（水）～5月31日（金）午前10時～午後6時
※5月2日（木）～6日（月）は相談窓口の受付時間に合わせて開設時間を延長予定

(ご参考①) 令和6年度 孤独・孤立対策強化月間に取り組む実施する団体例

○ 強化月間中には、孤独・孤立対策官民連携プラットフォームの会員団体をはじめ、様々な団体が取組を実施

イオンリテール株式会社

①家族や親しい人への介護やサポートをする、ケアラーのためのプラットフォームMySCUE（マイスキュー）での提供するコンテンツに、孤独・孤立対策に関する記事紹介などの掲載を実施。
②横浜市保土ヶ谷区のイオンスタイル天王町のイベントにおいて「孤独・孤立対策強化月間」に関するブースを設営し情報を発信。

公益社団法人日本プロサッカーリーグ（Ｊリーグ）

各Ｊリーグのクラブにおけるポスター、サイネージでの掲示を通じた周知活動などを実施。

一般社団法人日本産業カウンセラー協会

企業等の協会会員を対象とした「つながりサポーター」養成講座の試行実施。講座終了後、「職場の孤独」をテーマに、参加者による意見交換の場を設ける。各支部でのポスター等を活用した周知活動などを実施。

一般財団法人100万人のクラシックライブ

生の演奏がもたらす感動の共有を通じて「人と人がつながる」場づくりを目指し、クラシックライブコンサートを全国で実施。また「孤独・孤立対策強化月間」にあわせた特別Web番組を配信。

全国民生委員児童委員連合会、全国老人クラブ連合会、 全国社会福祉協議会（地域福祉推進委員会）

令和6年5月孤独・孤立対策強化月間 民生委員・児童委員、老人クラブ、社会福祉協議会による全国キャンペーンを実施し、各地での広報・啓発や見守り訪問活動、サロンの開催などの支援活動等の取組みを実施。

公益社団法人日本社会福祉士会

「孤独・孤立に向き合うソーシャルワーク」をテーマとして「2024年度生活困窮者支援ソーシャルワーク全国研究集会」を開催。

群馬県

令和6年5月の孤独・孤立対策強化月間にあわせて孤独・孤立対策官民連携プラットフォームを設置し、設立記念シンポジウムを開催。

その他、各地鉄道駅や空港、NPO等団体、自治体などで広報活動やさまざまな取組が実施されています。



孤独・孤立対策を応援して下さる皆様へ

5月は孤独・孤立対策強化月間 特設メタバース「ぷらっとば〜す」にて啓発イベントを開催

～告知へのご協力のお願い～



内閣府 孤独・孤立対策推進室では、令和6年5月の「孤独・孤立対策強化月間」に合わせて、特設メタバース「ぷらっとば〜す」を開設し、孤独・孤立相談、つながりサポーター養成講座、NPO等向けのファンドレイジング入門講座などのイベントをメタバース空間内で実施します。毎年5月を「孤独・孤立対策強化月間」とすることを決定して以来、社会全体で孤独・孤立対策に関する理解の浸透や対策への機運の醸成を図るイベント、広報活動等は、今回が初めての本格的な実施となります。

「孤独・孤立で悩む人を誰一人取り残さない社会」の実現に向けて、本取り組みを関係各所へ発信いただくなど、皆様のご協力をお願い申し上げます。

5月は、「孤独・孤立対策強化月間」

社会環境やライフスタイルの急激な変化により、人と人との関係性や「つながり」は希薄化の一途をたどり、孤独・孤立の問題が深刻な社会問題となっています。そこで、「孤独・孤立に至っても、支援を求める声を上げやすい・声を受け止める・声をかけやすい社会」を孤独・孤立対策の柱の一つとし、毎年5月が「孤独・孤立対策強化月間」と位置づけられました。

ご協力いただきたいこと

孤独・孤立対策強化月間特設メタバース「ぷらっとば〜す」のバナー画像や「ぷらっとば〜す」概要を紹介するWebページのURLをホームページやSNS等で告知いただけますと幸いです。

■「ぷらっとば〜す」のバナー画像



■サイトURL：

※本資料の2ページ目以降に、実施広報コンテンツの詳細をご紹介しますので是非ご覧いただけますと幸いです。



実施広報コンテンツのご紹介

○孤独・孤立対策強化月間特設メタバース「ぷらっとば〜す」(5/1～5/31 10:00～22:00)

「ぷらっとば〜す」は、孤独・孤立の問題を抱える当事者だけでなく、当事者の周りの方や孤独・孤立対策に取り組むNPO等の関係団体も含め、誰もが気軽に立ち寄れる空間を目指しています。

「ぷらっとば〜す」では、以下イベントの実施やコンテンツを掲載しています。

- 1：孤独・孤立相談窓口（5/2～5/6 16:00～22:00）
- 2：つながりサポーター養成講座の開催（期間中 2 回実施）
- 3：NPO向けファンドレイジング講座の開催（期間中 2 回実施）
- 4：自治体・NPO等の取組紹介
- 5：孤独・孤立対策チャットボット
- 6：NPO等紹介動画
- 7：孤独・孤立対策強化月間ポスタ
- 8：クラシック演奏のライブ配信

各イベントの実施詳細については、下記ウェブサイトをご確認ください

会場マップ



「ぷらっとば〜す」でのイベントのご案内

①孤独・孤立相談窓口

開設期間：5月2日（木）～5月6日（月）16:00～22:00

形式：「ぷらっとば〜す」内相談エリア

孤独・孤立の悩みを抱える方やご家族が、悩みを相談できる相談窓口を「ぷらっとば〜す」内に開設します。相談窓口は高い秘匿性が保たれる設計とし、相談者が安心して相談できる環境を構築します。

※電話相談「# 9 9 9 9」とメール相談も平行して実施します。

（電話相談は5月2日（木）10:00から5月7日（火）10:00まで

メール相談は5月2日（木）10:00から5月22日（月）17:00まで）

②つながりサポーター養成講座

日時： 5 月 9日（木） 16:00～17:00
5 月23日（木） 16:00～17:00

形式：「ぷらっとば～す」内セミナーエリア

孤立・孤独について理解・意識や機運を社会全体で高めていくために、孤立・孤独問題を抱える当事者のよき理解者となる人材「つながりサポーター」を養成するための講座をライブで実施。質疑の時間あり。

③ファンドレイジング入門講座

日時： 5 月20日（月） 16:00～17:00
5 月31日（金） 14:00～15:00

形式：「ぷらっとば～す」内セミナーエリア

孤独・孤立対策に取り組むNPO関係者向けに非営利分野の資金調達について新しい資金の流れを生み出し、社会課題解決を促進するための講座を実施。質疑の時間あり。

④100万人のクラシックライブ中継・特設ウェブ番組

日時： 5 月 8日（水） 11:45～12:30 東京都国立市でのコンサート
5 月12日（日） 13:00～13:30 埼玉県上尾市でのコンサート
15:00～15:30 //

5 月15日（水） 13:30～14:15 東京都調布市でのコンサート
5 月27日（月） 12:00～12:45 WEB番組「孤独・孤立対策強化月間特集」

形式：「ぷらっとば～す」内特設ステージ

生の演奏がもたらす感動の共有を通じて「人と人がつながる」場づくりを目指し、全国で実施しているクラシックライブコンサートの一部を「ぷらっとば～す」内特設ステージでライブ配信。

孤独・孤立対策とは

社会的不安に寄り添い、深刻化する社会的な孤独・孤立の問題について総合的な対策を推進するための企画・立案並びに総合調整に関する事務を処理するため、内閣府に、孤独・孤立対策推進室を設置いたしました。

政府一体となって孤独・孤立問題に取り組み、より一層的確に必要なとする方に支援をお届けいたします。

内閣府 孤独・孤立対策推進室

〒100-8914 東京都千代田区永田町1-6-1 TEL.03-5253-2111（代表）

地域における孤独・孤立対策モデル調査（孤独・孤立対策推進室）

5年度補正予算額 3. 3億円

事業概要・目的

- 誰にでも起こり得る孤独・孤立の問題に対しては、既存制度を通じた課題解決に加え、地域の多様な主体の連携を通じた日常生活環境での緩やかなつながりや居場所の確保が、予防や早期対応の観点からも重要です。
- このような活動の拡大を図るためには、地方公共団体（市区町村）が構築する関係者の連携・協働体制の下、NPO等が主体となった取組が必要ですが、「孤独・孤立対策推進のための官民連携の枠組み」や「日常生活における対応」の具体的なイメージやノウハウの蓄積が不十分です。
- このため、官民連携プラットフォームのモデルとともに、日常の様々な分野における「緩やかなつながりづくり」に係る取組モデルを構築し、その成果の全国展開を図ります。

事業イメージ・具体例

- 1 地方版官民連携プラットフォーム事業
地方公共団体（市区町村）を対象として、各地域の実情に応じた関係者間の連携・協働体制の構築や孤独・孤立対策の推進等に係る支援を行い、その取組プロセスや成果を取りまとめ、全国展開を図ります。
- 2 地域における孤独・孤立対策に関するNPO等の取組モデル事業
NPO法人や社会福祉法人等非営利団体を対象として、日常生活環境での緩やかなつながりや居場所づくりに関する先駆的な取組に係る支援を行い、その取組プロセスや成果を取りまとめ、全国展開を図ります。

資金の流れ

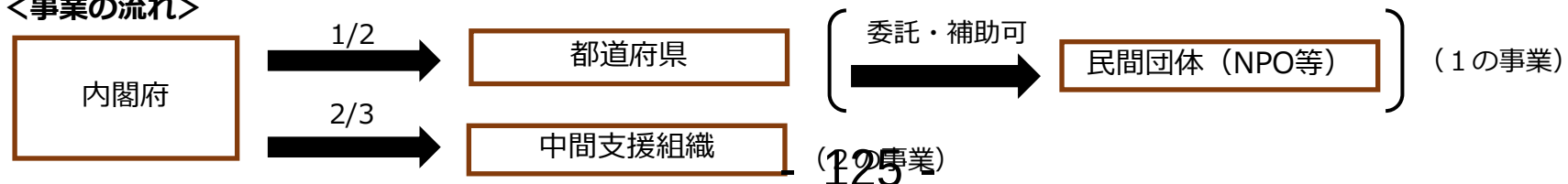


- 新しい政策分野である孤独・孤立対策の連携モデルや取組モデルの蓄積が進み、多様な担い手が育成され、地域における孤独・孤立対策が加速化されます。

孤独・孤立対策推進交付金の概要

	1 地方における孤独・孤立対策推進事業	2 孤独・孤立対策担い手育成支援事業
目的	・都道府県が実施する多様な主体による水平的な連携・協働体制の構築と地域の実情に応じた孤独・孤立対策に関する各種取組への支援を行うことにより、地方における孤独・孤立対策を推進する。	・孤独・孤立対策に取り組む民間団体に対する運営能力の向上や活動基盤の整備を行う中間支援組織の取組を支援することにより、民間団体による安定的・継続的な孤独・孤立対策を推進する。
実施主体	都道府県	中間支援組織（NPO活動等を支援する非営利法人） ※複数法人から構成されるコンソーシアムによる実施可
交付率	国1/2、都道府県1/2（普通交付税措置）	国2/3、中間支援組織1/3
交付基準額	800万円（交付上限額：400万円）	900万円（交付上限額：600万円）
事業内容	1 地方版官民連携プラットフォームの構築 2 孤独・孤立対策関連事業の実施（以下の複数を取組を選択） ① 孤独・孤立対策の取組方針の作成 ② 孤独・孤立の実態把握や地域資源の調査 ③ 関係者間の活動等に係る情報共有や相互啓発活動 ④ 住民への情報発信や普及啓発活動 ⑤ 人材確保・育成のための研修 ⑥ 地域協議会の設置 ⑦ 相談体制の整備や居場所の設置、交流機会の創出など当事者等への支援 ⑧ ⑦の活動を行う団体への支援（いわゆる中間支援） ⑨ 管内市区町村の後方支援 ⑩ その他内閣府が必要と認める取組 ※民間団体への委託可能。⑦及び⑧については補助も可能。	日常の様々な分野における緩やかな「つながり」の構築を実践しているNPO等を発掘し、地域の多様な主体との連携・協働を促進するとともに、情報提供、相談対応、研修等による伴走型支援を通じて個々のNPO等の経営力や事業力を高め、孤独・孤立対策の機運醸成と安定的・継続的な推進体制を構築する（原則、一つの都道府県を超えた区域で事業であること）。 ※民間団体への委託可能。 【取組例】 ・孤独・孤立対策に取り組むNPO等に対する運営基盤（資金調達、会計処理、広報等）の強化のための伴走支援や専門家派遣、講習会等の実施 ・地域の孤独・孤立対策の気運醸成と関係者間のネットワーク形成 ・従来の活動領域を超えた緩やかなつながりづくりのモデル構築 ・支援物資・サービスの効率的な提供に向けたデジタル化支援
対象経費	事業実施に必要な報酬、給料、職員手当等、保険料、諸謝金、旅費、消耗品費、印刷製本費、会議費、通信運搬費、雑役務費、借料、委託費、備品費、改修費（軽微なものに限る）、補助金	事業実施に必要な報酬、給料、職員手当等、保険料、諸謝金、旅費、消耗品費、印刷製本費、会議費、通信運搬費、雑役務費、借料、委託費、備品費、改修費（軽微なものに限る）
予算額	0.7億円	0.6億円

＜事業の流れ＞



地域における孤独・孤立対策に関するNPO等の取組モデル調査の概要

1 目的

・NPO等が主体となった日常生活における孤独・孤立の予防や早期対策に資する取組への支援を行うとともに、その取組成果等を踏まえた取組モデルとして構築し、全国展開を図る。

2 受注者の役割

・受注者は、モデル事業の公募・採択、取組の進捗管理や支援を実施し、それぞれの取組成果や課題等を整理するとともに、得られたノウハウ等を抽出した取組モデルを提示する。

3 モデル事業の実施

(1) 対象者

・NPO、公益法人、社会福祉法人等の非営利団体（任意団体も含む）

(2) 支援対象となる取組

・孤独・孤立の問題に対する日常生活環境における早期対応や予防に資する先駆的な取組

【モデル事業のテーマ（案）と取組イメージ】

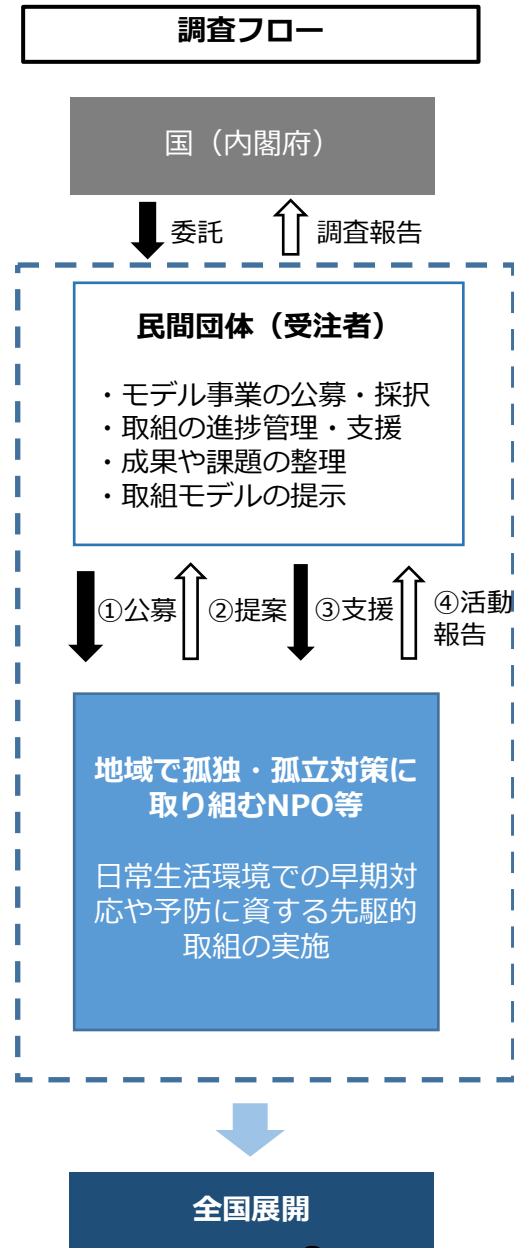
テーマ	取組イメージ
① 誰もが気軽に参加できる地域のゆるやかなつながりの場づくり	・スポーツや文化・芸術を通じたこども・若者、高齢者など多世代間の交流 ・シニア世代による子どもへの伝統行事等の伝承を通じた交流
② 自然に足が向く地域の居場所の提供	・大工仕事などを通じた中年・シニア世代の交流の場（日本版メンズ・シエツド） ・コミュニティカフェ、ものづくり、講習会などを複合的に実施する居場所 ・図書館や美術館、公園などの機能を活かした居場所
③ 多様な主体の水平的連携を通じた地域課題の解決	・新聞・郵便配達、宅配、コンビニ、理美容など地域インフラとの協働による地域の包括的見守り体制の構築 ・食品や生活用品などの支援物資に関する地域内のマッチングの仕組みの構築
④ 地域活動を通じた社会貢献	・シニア世代の知見やノウハウを活かしたまちづくりや中小企業支援 ・環境保全や農作業、防災ボランティアなど参加を通じた地域貢献

(3) 採択団体の取組に係る経費負担

・1団体当たり上限200万円

(4) 対象経費

・人件費、謝金、旅費、消耗品費、会議費、印刷製本費、通信運搬費等



別紙案：新旧対照表

現行	改正案
孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム分科会 規程	孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム分科会 規程
	2022 年（令和 4 年）2 月 25 日制定 2024 年（令和 6 年）5 月 15 日一部改定
略	略
（活動報告）	（活動報告）
第 5 条 分科会は、当該年度末までに、活動報告を所定の書式で事務局に提出する。	第 5 条 分科会は、活動状況を適宜、幹事会に報告する。
略	略
（規程の制定改廃）	（規程の制定改廃）
第 1 1 条 本規程の制定改廃は、事務局である内閣官房と幹事会が協議の上行い、制定または改廃した場合においては、直ちに会員に通知する。	第 1 1 条 本規程の制定改廃は、事務局である内閣府孤独・孤立対策推進室と幹事会が協議の上行い、制定または改廃した場合においては、直ちに会員に通知する。
附則	附則
この規程は、2022 年（令和 4 年）2 月 25 日から施行する。	この規程は、2022 年（令和 4 年）2 月 25 日から施行する。 この改定は、2024 年（令和 6 年）5 月 15 日より施行する。

孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム分科会 規程

2022 年（令和 4 年）2 月 25 日制定

2024 年（令和 6 年）5 月 15 日一部改定

（趣旨）

第 1 条 この規程は孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム規約第 2 1 条の規定に基づき設置される、分科会に関し必要な事項を定める。

（目的）

第 2 条 分科会は、孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム（以下「本会」という。）の会員間で共通する課題に対する解決策等の検討に関する活動を行うことを目的とする。

（設置期間）

第 3 条 分科会の設置期間は原則として、設置日から当該年度末とする。

（活動計画）

第 4 条 分科会の設置又は設置期間の延長を希望する会員は、年間の活動計画を所定の書式で本会事務局（以下「事務局」という。）に提出する。

（活動報告）

第 5 条 分科会は、活動状況を適宜、幹事会に報告する。

（構成員）

第 6 条 分科会の構成員は、会員から組織する。

2 構成員の募集に当たっては、設立時を含め会員に対して十分な告知を行うものとし、事務局が特に分科会活動に悪影響を及ぼすと判断した場合を除き、会員は参加を阻まれない。

3 構成員は、いつでも分科会を退会することができる。ただし、退会後も第 9 条を遵守する。

（費用）

第 7 条 会議等に要する費用は、特に事務局からの提供がない限りは、構成員の自己負担とする。

（成果の報告）

第 8 条 分科会活動により生じたアイデア、知見その他の成果（以下「検討成果」という。）がある場合、分科会は、随時事務局へ報告する。

（秘密保持）

第 9 条 構成員は、分科会活動において知得した他の構成員の技術的な情報及び相互の接触交流により知り得た他の構成員の秘密を第三者に開示又は漏洩をしてはならない。ただし、事前に相手方の同意を得た場合はこの限りでない。

(検討成果等の取扱い)

第10条 分科会の活動計画、活動報告及び検討成果（以下「検討成果等」という。）は、事務局を通じ、会員に共有され、会員及び事務局は検討成果等を自由利用することができる。

2 前項の規定にかかわらず、検討成果等に、技術的な開発成果等他の会員に共有することが望ましくない知見及び情報等が含まれると分科会が判断した場合、分科会は、事務局と検討成果等の取扱いについて協議する。

3 分科会は、検討成果等について知的財産権（特許、意匠、実用新案、商標及び著作権を含む。）に関する出願等を検討する場合、予め事務局に当該内容を報告し、取扱いについて協議する。

(規程の制定改廃)

第11条 本規程の制定改廃は、事務局である内閣府孤独・孤立対策推進室と幹事会が協議の上行い、制定または改廃した場合においては、直ちに会員に通知する。

附則

この規程は、2022年（令和4年）2月25日から施行する。

この改定は、2024年（令和6年）5月15日より施行する。

令和 6 年度シンポジウムについて

■検討事項

- ・令和 6 年度シンポジウムの実施スケジュールをどうするか（2～3 回程度を想定）。
- ・令和 6 年度シンポジウムのテーマ、内容をどうするか。

■ご参考 1：これまでのシンポジウムの実施状況

第 1 回：令和 4 年 6 月 21 日

「孤独・孤立の実態把握に関する全国調査の結果に見る課題の背景と取組」

第 2 回：令和 4 年 10 月 26 日

「声を上げやすい・声をかけやすい社会」に向けた取組の在り方」

第 3 回：令和 4 年 12 月 20 日

「きめ細やかな支援や、地域における包括的支援に向けた行政（国、地方）・民間・NPO 等の役割の在り方」

第 4 回：令和 5 年 3 月 16 日

「相談支援に係る実務的な相互連携の在り方」

第 5 回：令和 5 年 11 月 2 日

「孤独・孤立対策推進法の施行へ向けた地域内連携の在り方」

第 6 回：令和 6 年 3 月 8 日

「孤独・孤立対策地域協議会設立に向けた地域の取組み」

■ご参考：3 回を実施した場合の仮スケジュールイメージ

※過去実績を見ると登壇者候補決定から開催まで 2.5 月程度が必要な傾向。

時期	幹事会	第 1 回	第 2 回	第 3 回
5 月	第 20 回（15 日）	テーマ決定	-	-
7 月	-	企画概要決定 （登壇者候補含）	テーマ決定	-
9 月	第 22 回（18 日）	-	企画概要決定 （登壇者候補含）	テーマ決定
10 月	-	開催	-	-
11 月	第 23 回（20 日）	結果報告	-	企画概要決定 （登壇者候補含）
12 月	-	-	開催	-
1 月	第 24 回（15 日）	-	結果報告	-
2 月	-	-	-	開催
3 月	第 25 回（19 日） 総会			

■これまで（第19回幹事会）にあげられたご意見

1. テーマについて

○あなたのいばしょ大空理事長【国際連携】

ぜひやっていただきたいことは国際連携について。常に課題としては挙がっているが、なかなか進んでいない分野である。孤独・孤独対策はイギリスから始まり日本で大きく花開いた。昨年から各国で政府レベルでも民間レベルでも取組が進んでおり、我々は国際グループ（Global Initiative on Loneliness and Connection）に加盟している。各国1団体しか入れないが、アジアでは加入しているのは我々だけで他国は入っていない。政府レベルでは孤独・孤立対策が進んでいるが、実際民間レベルでどのようなことをやっているのか、日本に知見があると考えられているが共有していくことが大事であり、海外の事例を参照することも大事になってくるのではと考えている。WHOの動きや国際連携の動き等に取り組んでいただき、海外から日本への期待値が高いということを日本のステークホルダーにも共有し、先進事例を日本からも出していく感覚を共有いただきたい。最新の海外の知見、各国政府の動きを民間と政府側とで共有する場を作ることも重要だと考えている。海外にも孤独・孤立は目を向けていく必要があると考えているのでどこかでテーマ設定を検討していただきたい。

○社会的包摂サポートセンター遠藤事務局長【ジェンダー問題】

今までのシンポジウムで挙げた論点の一つに登壇者のジェンダーバランスがある。「ジェンダーの問題と孤独・孤立の問題」を1つ入れてもらい、女性の方をパネラーすることやセクシャルマイノリティの方を多めにする等、検討いただきたい。

○大西参与【これまでと今後の孤独・孤立対策、実態把握調査】

これまでの孤独・孤立対策を振り返りつつ、今年度から内閣府へ移管をしたことも踏まえて、総括して今後の孤独・孤立対策を考えてみてはどうか。また実態把握調査も3年間の結果が出たことから、どのような変化が見られるかに焦点を充てることも一案ではないか。

○新公益連盟井澤氏【つながりサポーター、中間支援団体や取組事例】

本年度つながりサポーター養成講座が本格始動するため、周知を深めるという観点から、一つテーマになりうるのではと考えている。また昨年度中間支援団体によるモデル調査事業を実施しており、本年度も事業継続することを踏まえ、中間支援団体や取組事例に焦点を充てることも一案ではないか。

○日本 NPO センター吉田事務局長

【取組事例（地方版 PF と地域協議会の棲み分け等、官民・民民連携の事例深掘り）】

過去2回シンポジウムへ登壇した所感として、自治体は取組事例こそわかるものの、具体的にどのように動き出せばいいのかという点で困っていると見受けた。特に、地方版 PF と地域協議会の棲み分け等。先ほど中間支援団体による取組事例という案も挙げたが、それらも踏まえて、良い事例や情報を発信できると良い。また「官民・民民連携による取組推進」の中にも良い事例がありそうなので深掘りすることも一案ではないか。

2. 実施方法等について

○社会的包摂サポートセンター遠藤事務局長【女性登壇者の確保】

今までのシンポジウムで挙げた論点の一つに登壇者のジェンダーバランスがある。「ジェンダーの問題と孤独・孤立の問題」を1つ入れてもらい、女性の方をパネラーすることやセクシャルマイノリティの方を多めにする等、検討いただきたい。

■令和5年度第1回シンポジウム 事後アンケートまとめ

- 開催概要（[内閣府HPリンク](#)）
- ・テーマ 「孤独・孤立対策推進法の施行へ向けた地域内連携の在り方」
 - ・開催日時 令和5年11月2日（木） 10:00～12:30
 - ・プログラム等開催案内（[リンク](#)）

□回答者属性（全231名）

性別		数	割合
231	男性	109	47.19%
	女性	118	51.08%
	無回答orその他	4	1.73%

年代		数	割合
231	10代	0	0.00%
	20代	9	3.90%
	30代	28	12.12%
	40代	59	25.54%
	50代	76	32.90%
	60代	49	21.21%
	70代以上	10	4.33%

属性		数	割合
231	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	102	44.16%
	自治体職員	72	31.17%
	民間企業	29	12.55%
	研究者	5	2.16%
	学生	0	0.00%
	その他	23	9.96%

□満足度

シンポジウム全体の満足度		
	数	割合
5 とても満足	53	22.94%
4 満足	115	49.78%
3 普通	49	21.21%
2 不満	9	3.90%
1 とても不満	5	2.16%

プログラムの満足度【第1部 解説】「孤独・孤立対策地域協議会」について

	数	割合
5 とても満足	40	17.32%
4 満足	90	38.96%
3 普通	83	35.93%
2 不満	11	4.76%
1 とても不満	7	3.03%

プログラムの満足度【第2部 パネルディスカッション】①取組紹介

	数	割合
5 とても満足	72	31.17%
4 満足	98	42.42%
3 普通	46	19.91%
2 不満	11	4.76%
1 とても不満	4	1.73%

プログラムの満足度【第2部 パネルディスカッション】②取組の課題や工夫・アクションについて意見交換

	数	割合
5 とても満足	67	29.00%
4 満足	93	40.26%
3 普通	54	23.38%
2 不満	13	5.63%
1 とても不満	4	1.73%

□【Q11. 今後開催するシンポジウムで、どのようなテーマを取り上げてほしいですか（自由記述）】 特に回答数の多いものは黄色マーカー対応、回答詳細は次シート参照

#	大項目	中項目	数（※1）
1	地域での先進事例（地域協議会を含む）	地域での取組事例全般（課題や地域等指定なし）（※2）	21
		具体的な対応事例等の実績	12
		民間企業との連携事例	5
		福祉領域以外の活動団体の取組事例	4
		庁内の巻き込み方（縦割り組織の打破、主管部局の決め方）	4
		具体的な困りごとや対応方法	3
		不登校、引きこもり、LGBT、DV、困窮、疾患障がい、外国人、被災者支援等の事例	3
		行政と民間の連携事例（自治体を中心となったNPOの巻き込み方、NPOへの委託方法）	3
		生活保護受給者、身寄りのない方への対策事例	2
		支援者支援	1
		生活困窮による自死の防止へ向けた支援	1
		子育ての孤独に関する取組事例	1
		ヤングケアラー支援	1
		町会・自治会の取組事例	1
		成年後見制度の取組事例	1
		職員数の少ない自治体での事例（県主導や広域地域の事例）	1
		都道府県の取組事例	1
		都市部での事例	1
		地域特性を踏まえた成功事例	1
		平時業務での取組事例	1
		海外の事例	1
		県と市の連携の在り方	1
		隣接自治体間での連携事例	1
		高齢者の独居の方に対する対応事例	1
		孤独・孤立支援以外の支援者の取組事例	1
		支援機関対象向けの支援事例	1
2	重層等の既存政策との連携/棲み分け方	—	8
3	居場所作りの在り方（0次予防の考え方）	—	5
4	まちづくりの事例	—	3
5	家世調査の結果分析	—	1
6	地域での上手くいかなかった事例/対応策	—	1
7	専門家と地域住民の関わり方	—	1
8	地域における人材育成	—	1
9	当事者理解の促進	—	1

- （※1）1人が複数テーマを挙げている場合はそれぞれを1カウント実施
（※2）第1回テーマの継続や深堀（自治体を中心となった地域での先進事例を紹介して引き続き紹介してほしい等）を求める3件を含む

95

□【011. 今後開催するシンポジウムで、どのようなテーマを取り上げてほしいですか】

回答詳細（第1回シンポジウム）

#	年代	属性	011. 今後開催するシンポジウムで、どのようなテーマを取り上げてほしいですか。	012. その他、ご意見・ご感想などをお聞かせください。（参考）
1	50代	自治体職員		
2	40代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
3	50代	自治体職員		
4	70代以上	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	今後取り組みが増えていくと思うので、具体的な取り組みが知りたい	
5	60代	議員		参考にさせていただきます。☺☺☺
6	50代	民間企業・その他団体職員		
7	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
8	30代	研究者		大変興味深く拝聴いたしました。 強いて申し上げればですが、チャットの方に面白そうなコメントが来ていましたので、しちらへの応答をもう少し聞いてみたいと感じました。
9	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
10	40代	民間企業・その他団体職員		
11	50代	民間企業・その他団体職員		孤独、孤立というと漠然としているので、具体的にこれまで孤立していた人がどう、孤立から抜けて、良い人生になったのか知りたい。そういうストーリーをドラマとかで伝えるのもあるかもしれない。
12	60代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
13	30代	民間企業・その他団体職員		
14	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		精神的問題（他者依存等）を抱えた孤独者をどう受け入れるかについての展望をお聞きたい
15	20代	民間企業・その他団体職員	民間企業の取り組みや、民間企業の方のコメントを聞きたい またどんな民間企業を求めているか、求めているのか知りたい 高齢者の孤独孤立、特に独居の方に対する取り組みを知りたい	
16	50代	自治体職員		当自治体としては、必要性を感じることができない取組みだと確信した。
17	60代	民間企業・その他団体職員		
18	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	引き続き同じテーマで、違う角度からのお話をお聞きたいです。（医療関係、学校など）	NPOの活動に持ち帰り、微力なのですが、日々考えながらひとりでも孤独を感じて死にたいと思っている人に寄り添いたいと思いました。
19	20代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	自治体の枠を超えた取組（鳥取県と兵庫県の隣接する自治体での連携のようなもの）	大変勉強になりました。ありがとうございました。
20	30代	自治体職員	福祉施設との兼ね合いについて	
21	50代	自治体職員	孤独・孤立から引き起こされる子どもの虐待について（フランスの子育て支援をもとに。ご存知かもしれませんが、YouTubeで「親子を丸ごと支える方法 フランスの事例」と検索すると5分程にまとめられたアニメがご覧いただけると思います。）	自治体の職員として、また地域の市民活動者としてこれからもがんばろうと思えました。参加できてよかったです。ありがとうございました。
22	60代	元自治体職員。現在は地域活動実践中。	次の段階の自治体取組事例、町会・自治会の取組事例、地域の多様な活動団体（とくに福祉の領域以外の活動団体）の取組事例など	盛りだくさんの内容でしたが、私自身のこれからの地域での活動を行ううえでのヒントとパワーをたくさんいただきました。ありがとうございました。
23	50代	民間企業・その他団体職員	地域づくり・まちづくり	とてもよい研修でした。ありがとうございました。
24	50代	民間企業・その他団体職員	孤立を防ぐためのコミュニティの必要性	会議に参加させて欲しいです。
25	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	人口減少、少子高齢化の中での身寄り問題と成年後見制度の取り組みについて	
26	40代	自治体職員		
27	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
28	60代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
29	40代	研究者		
30	40代	研究者	孤独実態調査の結果分析	ありがとうございました。
31	40代	堺市社会福祉協議会職員	先行する実践例	重層的支援体制整備事業や地域福祉との関係性が、まだ腑に落ちない。福祉的出発だけではうまくいかないことは理解できるが、もっと抜本的な仕組みが必要ではないかとも感じる。
32	60代	民間企業・その他団体職員	地域での連携事例	
33	50代	自治体職員		
34	60代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	事例を色々聞きたいです	自治体、NPO、企業との連携も聞けて参考になりました
35	30代	自治体職員		
36	40代	自治体職員	都道府県の取り組み事例（プラットフォーム）	
37	40代	民間企業・その他団体職員	各都市、市町村のプラットフォームの動画配信・解説	初めて参加いたしましたが、参考になりました。
38	60代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
39	40代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	地域内外の支援者連携などはどのようにされているか？ 支援者支援などもあると嬉しいですね。	会員にはどうすればなれますか？ またフォーラムなどグラレコで可視化しても大丈夫でしょうか？
40	50代	自治体職員		
41	60代	民間企業・その他団体職員		
42	60代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
43	50代	民間企業・その他団体職員		

□【Q11. 今後開催するシンポジウムで、どのようなテーマを取り上げてほしいですか】

回答詳細（第1回シンポジウム）

#	年代	属性	Q11. 今後開催するシンポジウムで、どのようなテーマを取り上げてほしいですか。	Q12. その他、ご意見・ご感想などをお聞かせください。（参考）
44	30代	自治体職員		重層的支援体制整備事業との違いがやはりよく分からなかった。聞けば聞くほどこれは重層ではないかと思いました。重複する部分が多すぎます。孤独孤立と重層の所管を内閣官房と厚労省で分けて別々で実施する必要があるのか非常に疑問です。重層の関連通知やマニュアル等だけでも膨大な資料があります。ここに孤独孤立を別の省庁から似たような資料がいろいろと来ると、現場の自治体は混乱・疲弊すると思います。
45	40代	自治体職員	大規模自治体の孤独孤立施策（都市部にも特化したテーマを聞いてみたい）	福祉部局が担うことが主流になっていますが、今日の話を聞けば、政策企画室のような部門が束ねると効果的なのだと思います。しかしながら、事例が身近にあるといえやはり福祉なので、実際の運営を見るか、理想図を俯瞰できるか、運営の難しいところだと思いました。
46	30代	自治体職員		
47	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	こどもまんなかのまちづくり	練馬区のように少子高齢化が進行し、人口減少が顕著な自治体ほど、危機感が強く、何とかしないという思いが強い。大分県でも竹田市が地域包括ケアを元にした地域共生社会推進で庁内連携やまちづくりを進めている。様々な社会課題を他人事と思うと力が入らないけれど、自分事として声を上げる。行政職員は難しい試験をパスして一生安泰だけでなく、働く中で様々な課題を発見し、まちのためにひと汗かくことで、魅力ある職であることを願いたい。
48	60代	大阪環境カウンセラー協会	我々のような福祉分野の活動でない取組との協調性	大変興味深く聞かせていただきました。ありがとうございます。
49	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	専門職と地域住民との関わりについて詳しく聞きたい。	
50	60代	フリーランス 日本社会福祉士会・日本精神保健福祉士協会		
51	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
52	30代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
53	40代	民間企業・その他団体職員		
54	60代	議会議員	まちづくり協議会 シティプロモーション	
55	60代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	成果があった事例を知りたい。	特にありません。
56	60代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
57	30代	自治体職員		
58	50代	診療所看護師	プラットホームでの実際や推進会議のメンバー（職種）や活動内容の実際を知りたいです。	
59	60代	自治体職員		
60	30代	自治体職員		
61	30代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	今後も自治体での取り組みをうかがえればと思います。	
62	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	もっと多くの地域での取り組み事例を知りたいです。 成功例だけでなく失敗例も知りたいです。	何か活動のフラッグ的なことが必要かと思います。映画をつくるとか。
63	30代	自治体職員	つながりを持たない当事者との接点作りの工夫	ありがとうございました。地域の特色を生かしたPFづくりのイメージが湧きました。
64	40代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		今回の研修で学んだプラットフォームを活かした実際の個別支援の事例などもあれば聞きたいです。
65	30代	民間企業・その他団体職員		
66	40代	士業		
67	20代	自治体職員		
68	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	行政、民間、中間機関の真の連携をするには行政の縦割りを見直す必要がある	ややもすると業務を丸投げする行政もあり、真の連携がなければ、本事業も浸透しない
69	40代	法務省職員	再犯防止等、孤独・孤立分野と同様のネットワークを構築している分野との連携について	
70	50代	社会福祉法人が経営する居宅事業所のケアマネ	繋がりを実践してる事例をいろいろ聞けたら。	イレギュラーな事態も冷静に対応されて素晴らしいです。吉田さんの司会も短時間でしたが、見事で私も苦手なファシリテーター力を身につけたいと思いました。
71	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
72	30代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	実際に孤独・孤立者の支援につながった事例をお聞きしたいです。	わかっているようでわかっておらず、大変参考になりました。是非、各地方自治体職員に聞いていただきたいです。
73	50代	公務員	引き続き、現場の事例、特に課題と克服策など。	ロジ面ですが、進行役のバックアップ体制が取られていたのがよかったです。
74	40代	自治体職員		
75	50代	自治体職員	実際にプラットフォームや協議会の運営を通じて、地域が良い方向に変わっていくことを体験された自治体の取り組みを知りたいです。	村木厚子様の東京大学での講演を聞き、先生出演の本研修をマークしました。庁内連携の上手くいっている3自治体のお話、素晴らしいなあと感じています。
76	50代	自治体職員	市町村レベルで庁内外の連携モデル	鎌倉市の市長さんが熱くお話ししてくれ、モチベーションが上がりました。
77	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
78	50代	自治体職員		
79	60代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	「重層的支援体制整備事業」と「孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム」、関係性の困窮状態をどう支えていけるか？	今後の孤独・孤立対策監禁連携を考えた時、福岡県北九州市の「NPO法人抱擁」が進めている「きぼうのまちプロジェクト」が理想モデルになって行くと考えます。このような取り組みが全国で展開されることこそ、最も効果的な孤独・孤立の対策になるのだと思います。こういうことに大きな補助がつくような施策を願うばかりです。
80	60代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		

□【Q11. 今後開催するシンポジウムで、どのようなテーマを取り上げてほしいですか】

回答詳細（第1回シンポジウム）

#	年代	属性	Q11. 今後開催するシンポジウムで、どのようなテーマを取り上げてほしいですか。	Q12. その他、ご意見・ご感想などをお聞かせください。（参考）
81	60代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	孤独・孤立の予防的取り組みについて	発達障害者やその保護者が社会からの孤立感を深め、社会に対して否定的・非難的になってしまうことを防ぐために、障害に対する理解・啓発を進めていきたいと思うが、どうしても障害に関して同じような組織とのネットワークに頼りがちになる傾向があると反省した。もっと幅広く、ゆるい連携をもつプラットフォームがあれば、それぞれ興味関心がある部分で社会参加につながり、孤立感を深めてしまうことを予防することになるのかもしれないと感じた。
82	40代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	メンタルヘルスやうつ、ひきこもり、自殺等の0次対策について、海外での事例	
83	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	連携の事例を通して、実際の動き方について知見を得たいです。	前向きになれるヒントとなる考え方が随所にあって、自分も自分の役割の中で頑張りたいと思えました。ありがとうございます。
84	30代	自治体職員		村木会長も言われていたが、孤独・孤立対策推進法で自治体が具体的に何をしないといけないか等、自治体向けの研修の開催を希望
85	40代	自治体職員	地域の人材育成について	
86	40代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
87	40代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	わからない	大変有意義なシンポジウムでした。
88	70代以上	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	ひきこもりに関する施策について	重点計画は法の施行に合わせて修正するのか回答がなかったのかわからない
89	40代	行政書士	「身寄りのない高齢者の対策」関連、「生活保護受給者」関連など	また参加したいです。
90	30代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
91	20代	自治体職員		
92	60代	民間企業・その他団体職員		
93	70代以上	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	地域の具体的な、課題の取組と解決策をしりたい	個人の支援ばかりでなく、[取り巻く社会を変える]との発言に感動し、同じおもいがしました。また、現場では、異世代間の価値観の変化や組織のあり方などが、大きくズレがあり、地域で、これ迄のリソースが機能しなくなりはじめてるように思います。
94	60代	民間企業・その他団体職員		
95	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	うまくいかなかった事例なども聞けると参考になると思いました	
96	60代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	行政と民間との取り組みと連携の在り方	民間での取り組みを支援していくとは、どのような支援を言うのかを知りたい。
97	40代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
98	30代	自治体職員		
99	40代	民間企業・その他団体職員		
100	60代	自治体職員		
101	50代	京都社会福祉士会会員		初めての参加でした。厚生労働省っていうだけで、もっと敷居が高い印象をもっていた。法律や施策の国の方向性など、とても分かりやすく説明して下さり、好印象でした。また機会があれば参加してみようと思って終えることができました。ありがとうございます。
102	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
103	70代以上	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	自治体とのスムーズな協力態勢はどう築くか？	毎回基本的なプラットフォームの姿勢を強調する。水平なかかわり、関係性を維持出来る運営を保つ努力する
104	60代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
105	30代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
106	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
107	40代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	重層的支援体制整備事業との関わりや、福祉分野以外とのチーム作りについて、もう少し具体的に詳しく知りたい。	
108	40代	自治体職員	「どこが音頭を取って進めるのか」が一番の問題になると考えられるので、その点についての話が聞きたかったです。	
109	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		開始が早くてもいいから12時には終了して欲しかった。
110	60代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	ヤングケアラーの実態とその救済手段	時間が短かく感じるほど内容の濃いシンポジウムでした。
111	60代	民間企業・その他団体職員		
112	60代	市議会議員		
113	30代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	孤独孤立の方に関する回復過程をみる。	ありがとうございました。
114	60代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
115	40代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
116	30代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
117	60代	自治体職員	中間支援団体の取組	首長のリーダーシップに任せるのは違うのではないかな？
118	60代	民間企業・その他団体職員		
119	40代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	今回のように先進地の事例や、つながりに関する情報提供があると嬉しいです。	
120	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
121	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	支援会議や重層的支援体制整備事業の好事例や課題について、また社会福祉協議会との連携について実践報告を聞きたいです。	我が町でも取り組んでいければと思います。 滋賀県野洲（やす）市役所の庁舎内連携の取り組みは以前から素晴らしいです。各自治体が滋賀県野洲市の庁舎内連携のように、消費者生活相談の課で市民から相談があれば市民を他の課へたらいまわしにするのではなく、課内の方全員がコンシェルジュ的な意識を持ち、困り事を庁舎内全体で解決できる視点があれば税金滞納者も減り、将来的には納税者が増えると思います。官民連携になるかどうかはわかりませんが、野洲市の取り組みを一度内閣府の方も知るべきだと思います。

□【Q11. 今後開催するシンポジウムで、どのようなテーマを取り上げてほしいですか】

回答詳細（第1回シンポジウム）

#	年代	属性	Q11. 今後開催するシンポジウムで、どのようなテーマを取り上げてほしいですか。	Q12. その他、ご意見・ご感想などをお聞かせください。（参考）
122	30代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	日々の業務まで孤独孤立対策を落とし込んだ行動ができるようにはどう取り組みれば良いのか。今回ご登壇いただいた方々は熱意を持って取り組まれている様子が伺えましたが、支援対象の方からは、行政窓口の対応に納得がいくものではない・行政サービスの提供内容について疑問がある、との声も伺うので。	
123	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	社会的処方	
124	60代	市議会議員		
125	40代	自治体職員		
126	50代	民間企業・その他団体職員		
127	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
128	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	引き続き、取組紹介、庁内連携は取りあげていただきたいと願います。企業等と連携した取組もお聴きしたいと思います。	有意義な時間をありがとうございます。2時間30分では足りない内容でした。パネリストの方々が明るくお話をしてくださったのが印象的で、様々な課題はありますが、自身も楽しみながら、地域づくりに取組みたいと思います。愛を叫ぶ、納得しました。警察にも相談しておりますが、「孤独死」の実態を把握するにはどうしたらよいかわかっています。
129	40代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
130	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
131	70代以上	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	具体的な対策。	孤独・孤立対策が浸透して行くよう期待しています。
132	60代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
133	50代	老健施設ケアマネ（作業療法士）	ご本人の意向で孤立しているが、明らかに支援が必要な方の事例	政府の本気度がわかりました。ありがとうございます。個々を活かす介入は作業療法士の得意分野です！使ってください
134	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	繋がりがうまく行っている自治体の事例、水平的繋がりに関するプレスト	今後もこのようなフォーラムを開催を続けてください。
135	60代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	孤独・孤立支援を目的にしているわけではなくて結果としてそれになっている活動に携わっているが、来春の法律施工後はそのような団体に求められるものがあるのならばそれらについて知っておきたい。	
136	50代	自治体職員		正午までに終わって欲しい。開始時間を早くすればよかったのでは。
137	50代	市議会議員	居場所づくり	後から録画配信されるのが、有り難いです。
138	60代	民間企業・その他団体職員	民間企業の参加意欲を高めるようなテーマ。地方版PFにおける民間企業参加の具体例や、パネリストとしての民間企業または経済団体の登壇、つながりサポーターが具体化すれば職域での展開事例など。	
139	70代以上	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
140	40代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
141	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
142	30代	当事者	今回のお話の中で少し出てきた、0次予防という考え方についてもっと詳しく知りたいと思いました。当事者として「いつもこちら側ばかりに努力や工夫が求められる」と理不尽に感じていたので、こういう考え方がもっと社会に広まっていったらいいです。	申し込みの際、属性の選択肢に当てはまるものがなく、当事者の私に参加してもいいのだろうか戸惑いました。できれば今後、人とつながりたいと思っているけれどどうしたらいいのかわからない当事者や、地域の人も参加しやすいセミナーやシンポジウムを検討していただけたら嬉しいです。孤独・孤立対策推進法による施策が、当事者の声を反映する形で進められていくことを願っています。
143	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	困っている事例を数字（データ）やケーススタディで知りたいです。孤独、孤立から始まる課題なども分析、このままだと、どうなるのか未来の日本を予測する。だからこそ、この対策が必要と明くる未来で締めくくるのはどうでしょうか。	長時間の講義、シンポジウムありがとうございます。次回も楽しみにしています。
144	60代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	自治体中心ではなく連携をとれる体制や自治体以外からの提案等を受け入れることができる体制づくり	ありがとうございました。
145	40代	研究者		
146	70代以上	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	「居場所」の問題	
147	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	地方版官民連携プラットフォームについて	
148	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	繋がりがや個別の困難ケースの事例が知りたい。資源・支援など	なし
149	40代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
150	40代	民間企業・その他団体職員	子育ての孤独	
151	70代以上	パート 電話相談員	全国展開して行く時の地方自治体の本気度が問題。やらされている感ではどうしょうもない。	
152	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	自殺	
153	60代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
154	60代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	官民一体の連携事例紹介	貴重なシンポジウム開催をありがとうございました。定期的な開催でご教授いただければ幸いです。

□【Q11. 今後開催するシンポジウムで、どのようなテーマを取り上げてほしいですか】

回答詳細（第1回シンポジウム）

#	年代	属性	Q11. 今後開催するシンポジウムで、どのようなテーマを取り上げてほしいですか。	Q12. その他、ご意見・ご感想などをお聞かせください。（参考）
155	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		1. 他者に連携を求める際の言葉遣いが「巻き込む」だったのが気になりました。意図せず悪いことに関わることになるニュアンスを持つ言葉を使うのは事業の性質上不適切と思います。 2. 重層的支援との違いは予防だとの説明がありましたが、予防（ゼロ次、一次）をあまり強調すると現実的に孤立・孤独状態にある人への対応がおろそかになる懸念を持ちました。二次予防、三次予防もやっていくのしょうから、たとい重層と重なる部分があってももしっかり対応し、制度の狭間にこぼれ落ちる人が出ないようにしてほしいと思いました。
156	60代	市議会議員		
157	40代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
158	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
159	50代	NPO法人日本ナルコレプシー協会（患者当事者団体） 副理事		今回の孤独・孤立対策の理念が漠然としていて非常に分かりにくいです。 私が当事者として感じているのは、そもそも何らかの行政が対策を打たねばならない、狭義の孤独・孤立している人は今までの一般社会や行政の制度から排除されてきた人々であり、一番問題なのは存在自体がなきものとなっていることです。 だから孤立していて内に引きこもっている。 それは一般社会において私たちの人権が保障されてなく安心安全な場ではないからです。 だからまず変わる必要があるのは、この一般社会の考え方だと思います。 それをしないでにおいて「あなたはひとりではありません」というスローガンを掲げてても意味はないと思います。 また予防が必要と書いてありますが、予防なら既に従来から各地域で十分やってこられていていると感じます。地域の市民団体は自主的且つ自然発生的に生まれたものであり、そもそも人はつながりを求め合う生き物です。 それをあえて行政が「つながり」を強調して予防にまで手を出すことは、国家の介入を強く感じます。「つながらない自由」も私たち市民にはある。 ということで必要なのは狭義の孤独・孤立対策であり、それに対しては単なる趣味で集まった一般市民団体で対応できるものではないから（過剰な負担をかけるのはおかしいし、簡単な予防は各団体が既に自主的にやってきていると思う）、専門や当事者団体が予算を使って行政連携して福祉（必要な場合は医療も）課題として問題解決していく必要があると思います。 なお、一番困っているのは地方自治体・社会福祉協議会ではないかなと思います。 こんな雑な政策ではただでさえ担当部署を越えてやっていくこと自体が非常に苦労が多いだろうに、ここまで具体的にでなくまとまりがないと、従来の地方自治体で支援している施策と大して変わり映えのしないものになるのが関の山ではないかなと思います。 苦言を呈しまして大変申し訳ないです。 この対策に関わっている方々の努力には頭が下がりますし、きつと中核で活動されている方々が真面目に取り組んでおられるのはしっかり認識しております。 実際に活動するスタッフ（ほぼ当事者）に対して報酬も払えないような末端の不安定なNPO法人ではありますが、参加して感じたことを率直に書かせて頂きました。 NPO法人日本ナルコレプシー協会事務局 事務局 駒沢典子
160	60代	研究者	地縁組織の活動実践と地縁組織との連携・連動した官民組織の活動実践。	とても良かったです！
161	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		京都市の地域包括で勤務しています。認知症に対する官民連携のプラットフォームはあることは知っていましたが、孤立・孤独のプラットフォームも存在するとのことで、大変勉強になりました。京都市は、孤立・孤独対策はこれからだと思っています。社会福祉法人として、どのように”官”と交わっていけばいいのか考えさせられました。双方が交わり連携姿勢がなければ難しいとも感じました。また、官が区役所などで愛を叫んだものをどのように民間が察知できるのか・・・
162	20代	自治体職員		
163	70代以上	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	登壇された自治体以外の活動、「抱撲」など民間の活動状況の発表や、課題について。	
164	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
165	40代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	支援機関にあてはまらないはざまにいる方の支援について	
166	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	孤独・孤立による複合的な要因により経済的・社会的貧困に陥っている人に実際にどのようなセーフティネットが必要か調査し、多様な事例への対応策を提案・議論し、実効性あるものにしていく。このような具体的な行動に一步もつながるシンポにしたい。議論だけでは前に進まない。	孤独・孤立対策を考えるときには、すべての複合的な要因を含めて、地域と国単位の両方で包括的な対応を考えていくことが大切。孤独・孤立含めて、相談できない人、困っている人はそもそも地域に不信感や相談したくない人も多く含まれているので、地域・自治体だけにまかせずに、国単位でのセーフティネット、相談受付対応も必要だと思います。
167	40代	自治体職員		
168	60代	民間企業・その他団体職員		
169	40代	自治体職員		
170	40代	自治体職員		

□【Q11. 今後開催するシンポジウムで、どのようなテーマを取り上げてほしいですか】

回答詳細（第1回シンポジウム）

#	年代	属性	Q11. 今後開催するシンポジウムで、どのようなテーマを取り上げてほしいですか。	Q12. その他、ご意見・ご感想などをお聞かせください。（参考）
171	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		孤独・孤立への取り組みを遂行していく上で参考になる有意義なシンポジウムでした。
172	60代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
173	40代	自治体職員		
174	30代	自治体職員		
175	40代	自治体職員		ありがとうございました。
176	20代	自治体職員		
177	50代	自治体職員		
178	40代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	孤独・孤立対策官民連携プラットフォームの運営の、NPO等への委託について。	たいへん関心のあることなので、シンポジウム・セミナー等の情報があればいただきたいです。
179	50代	民間企業・その他団体職員	縦割り問題の具体的かつ画期的な対策について	
180	40代	自治体職員		
181	60代	自治体職員	横連携（自殺対策、生活困窮、重層的支援体制整備、生活支援体制整備、生涯活躍、健康づくり、精神保健福祉、医療、国保等保険者）小規模自治体は重複同時実施となる。	
182	30代	自治体職員		
183	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	身寄りのない社会的孤立者等への支援。	YouTube配信は参加しやすかった。分野別には発行されているが、総合的な「孤独・孤立白書」のようなものが発行されるといいと思った。
184	60代	民間企業・その他団体職員	他の法律との違い。	孤独・孤立の方たちのつなぎ先が、安定・継続して支援できるように支援が必要だと思う。
185	50代	自治体職員		
186	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	孤独・孤立社会が生まれた背景について、「温故知新」の考え方で、昭和初期や戦後あたりから家族機能、コミュニティ、労働環境、イデオロギーの変化などを検証し、ゼロ次予防はどうあるべきかという事に興味があります。	Q12同様、孤立・孤独の歴史的背景を知る事が重要なのではないかと思います。
187	50代	自治体職員		
188	60代	民間企業・その他団体職員	同テーマで続編を定期的に開催していただきたいです。	
189	40代	民間企業・その他団体職員	民間企業ができること	
190	40代	自治体職員	継続した取り組み困難課題など含む、同じような内容でいいとおもいます	
191	60代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	日本の地域社会の現状を知りたいです。社会活動家の湯浅誠氏の状況認識を知りたいです。	体調不良で参加できませんでした。次回は、必ず参加させていただきます。
192	40代	自治体職員		
193	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
194	30代	自治体職員		オンライン会議中、下に字幕が出てくる設定になっていたが、変換がうまくできていなかったので字幕オフにしても良かったと思う。
195	40代	自治体職員		地方公共団体に新たに設置が求められることとなったプラットフォームや地域協議会について、現場のマンパワーは限られていることから、既存の合議体をそのまま活用したいと考える自治体が多いと思われる。重層的支援体制整備事業の実施自治体では比較的スムーズに取組を進めることができると思われるが、それ以外の市町村についても無理なく取組が進められるよう、都道府県や市町の担当者を対象としたセミナーを開催いただけると有難い。
196	50代	自治体職員	プラットフォームの立ち上げまでの過程など、これから立ち上げる自治体のノウハウとなるものを希望します。	ライブ配信中は画面・音声が途切れ途切れになり、フリーズするなどして、イライラする時間が長かったので、次回があるならば改善していただきたいと思います。
197	30代	自治体職員		
198	40代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
199	40代	自治体職員	支援事例における支援者の苦悩や民間事業者の思い	生活困窮者への支援を行うなかで、困窮の根本原因の一つに孤独や孤立を感じている方が多いと感じていました。しかし、自治体職員として何から取り組めばいいのかさえもわからず、今回参加し知識を得ることができて非常に満足です。 ただ、非常に広い分野で、自治体職員としては同時に不安も感じています。 自治体職員として垂直ではなく水平の関係を作っていくことが不得手だということを常に念頭に置き、水平関係を作れるようできることから始めようと思いました。ありがとうございました。
200	40代	自治体職員	自治体の先進的取り組みを聞きたい	
201	50代	自治体職員		
202	30代	自治体職員		○重層的支援体制整備事業と孤独・孤立対策推進法の違いについて、シンポジウムの最後に説明がありましたが、違いについて理解することができなかったため、改めて違いについて説明等があればありがたいです。 ○シンポジウムの第1部で法解説をしていただきましたが、交付金の交付条件など孤独・孤立対策推進法についてより具体的な説明等の時間を設けていただきたいです。
203	20代	自治体職員		
204	30代	自治体職員		

□【Q11. 今後開催するシンポジウムで、どのようなテーマを取り上げてほしいですか】

回答詳細（第1回シンポジウム）

#	年代	属性	Q11. 今後開催するシンポジウムで、どのようなテーマを取り上げてほしいですか。	Q12. その他、ご意見・ご感想などをお聞かせください。（参考）
205	40代	自治体職員		
206	60代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		私は生活困窮者自立支援機関でアウトリーチ支援員（嘱託職員）としてR2年5月から勤務しております。 第2案の理念で「孤独・孤立の状態は人生のあらゆる段階において何人にも生じ得るものであり、孤独・孤立の状態にある者の問題が社会全体の課題であるとの認識の下に、社会のあらゆる分野において孤独・孤立対策の推進を図ることが重要である」と、すべての国民が対象と明確に位置付けられたのは、すべての生きづらさを感じている人やその家族の人たちの支援にとつての大きな第一歩であると思います。 また地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォームや孤独・孤立対策地域協議会について、スライド46と47で具体的に例示された、支援会議やひきこもり支援プラットフォーム、就職氷河期世代支援プラットフォームなど既設の会議体があり、そこにこれらの機能を追加したり、会議時間を切り分けたりして、新たに立ち上げる方法だけでなく「既存の会議体における主体の多様性の実現できる可能性がある」とこと示されたこと、 さらに山本室長がご説明いただいた、包括的支援体制整備事業との関係性や違いにおいて、「孤独・孤立対策」は、1) 孤独・孤立の状態に陥らないよう、「ゼロ次予防」的に、個人が努力していくのではなく社会環境を変えていく事業であり、2) 個別支援を含め極めて広い網をかけ、対象者が広いことや、3) 「援助論から入っていく地域づくり」だけでは限界が出てくるが、「孤独・孤立対策」では「フリーからいく地域づくり」が交わっていくように進められていくとのことに、対症療法だけでなく根本的な「予防」に重点が置かれていることにその発展性を感じました。 あらためて包括的支援体制整備事業、ひきこもり支援、就職氷河期世代活躍支援等で対象としている人たちの状態は「社会的孤立」に関わる事柄であります。 この度の孤独・孤立対策では、制度や省庁のはざまにある相談者の課題解決のために省庁横断の形の新たな組織の必要性から貴担当室が設置されたものと考えています。 構成員が同じような会議体が並び立つ中で、結局は相談者の窓口対応を担う地方自治体や社会福祉協議会の担当者が疲弊してしまうのではないかと感じておりましたが、発表していただいた愛媛県、鎌倉市、鳥取市の取り組みをはじめ、それぞれの地域事情や現状をもとに柔軟に対応していくことができるよう運用での裁量に幅があり、本事業の奥深さを感じました。 大切なのは、現場でこの制度の理念をふまえ、誰一人として取り残さない地域共生社会を目指していくこと。プラットフォームに集う人たちが地域の生かせる資源を情報共有し、必要なら知恵を出し合ってニーズに対応する新たな資源を創出していくことが、顔の見える水平型連携の中でなら可能ではないかと思い、この取り組みを心強く感じます。 このシンポジウムを開催いただきありがとうございます。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。
207	40代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	参加者に当事者の現状の認識を深めていけるプログラムを組んでいただけると幸いです。	
208	40代	自治体職員		
209	50代	民間企業・その他団体職員		
210	50代	精神科医師		
211	20代	自治体職員	事業の進め方、関係各課、その他多職種他機関とのやり取りで工夫した点や苦労した点など	貴重な機会をありがとうございました。
212	40代	自治体職員		
213	40代	自治体職員		
214	60代	自治体職員	地域共生施策とどう関連して連携していくのかを説明してもらいたく、実際にどのように自治体に導入されるかがわかるような内容でお願いできたらありがたいと思います。各自自治体で、孤独・孤立は今後の課題として大きなものであるとは思いますが、自治体や関係機関の職員数も限られており、その状況下でこのような施策を実現するのは難しいと思われるため、人員や予算の面からも実現する方法を示していただきたい。	今後、本当に必要な施策と思いました。
215	50代	自治体職員	重層との関係をもっと詳細に説明してほしい。	大変勉強になりました。ありがとうございました。
216	50代	自治体職員		
217	40代	無職		
218	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	プラットフォームの成果物として、その人がどう変化したか、個人ベースのエピソードが語られると良いと思います。	私は子どもの居場所(学童とフリースクール)を運営する、NPOスタッフをしています。地域の課題を解決しながら、社会的イノベーションを起こしていこうという団体の目標を達成するためにも、貴重な指針を頂きました。私たちのNPOも、是非地元鎌倉のプラットフォームに入れて頂き、愛を叫ばせて頂きたいと思います。ここから何かが始まる気持ちでワクワクしています。本当にどうもありがとうございました。
219	20代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
220	60代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	地域の特性を踏まえての成功例を今回のように知りたいです。	
221	60代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）		
222	30代	自治体職員	小規模自治体で実施されている取り組みありましたらお教えいただきたいです。	

□【Q11. 今後開催するシンポジウムで、どのようなテーマを提起してほしいですか】

回答詳細（第1回シンポジウム）

#	年代	属性	Q11. 今後開催するシンポジウムで、どのようなテーマを提起してほしいですか。	Q12. その他、ご意見・ご感想などをお聞かせください。（参考）
223	40代	自治体職員		
224	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	活動されている団体（現場）の声と課題・解決策の深掘り	
225	40代	自治体職員		
226	70代以上	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	実践事例の紹介をしてほしい	
227	40代	民間企業・その他団体職員		
228	50代	自治体職員	先行自治体の好事例、失敗例	
229	40代	自治体職員	「すべての分野」を強調されていたので、福祉以外の分野を深掘りしてほしい。	YouTubeチャットだと投稿にGoogleアカウントが必要なので、事前にその旨を知らせて欲しかった。
230	50代	自治体職員	法施行後の各自治体の取組状況（先進・優良事例）。	
231	40代	自治体職員		

■令和5年度第2回シンポジウム 事後アンケートまとめ

- 開催概要（[内閣府HPリンク](#)）
- ・テーマ 「孤独・孤立対策地域協議会設立に向けた地域の取組み」
 - ・開催日時 令和6年3月8日（金） 15:20-18:00
 - ・プログラム等開催案内（[リンク](#)）

□回答者属性（全160名）

性別	数	割合
160		
男性	73	45.63%
女性	84	52.50%
無回答orその他	3	1.88%

年代	数	割合
10代	0	0.00%
20代	4	2.50%
30代	19	11.88%
40代	40	25.00%
50代	48	30.00%
60代	39	24.38%
70代以上	10	6.25%

属性	数	割合
支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員	61	38.13%
自治体職員	60	37.50%
民間企業	4	2.50%
その他団体（社団法人、財団法人、任意団体など）	22	13.75%
研究者	6	3.75%
学生	0	0.00%
その他	7	4.38%

□満足度

シンポジウム全体の満足度	数	割合
5 とても満足	38	23.75%
4 満足	75	46.88%
3 普通	42	26.25%
2 不満	2	1.25%
1 とても不満	3	1.88%

プログラムの満足度【第1部 解説】「孤独・孤立対策地域協議会」について

	数	割合
5 とても満足	29	18.13%
4 満足	56	35.00%
3 普通	63	39.38%
2 不満	10	6.25%
1 とても不満	2	1.25%

プログラムの満足度【第2部 パネルディスカッション】①取組紹介

	数	割合
5 とても満足	52	32.50%
4 満足	72	45.00%
3 普通	31	19.38%
2 不満	4	2.50%
1 とても不満	1	0.63%

プログラムの満足度【第2部 パネルディスカッション】②取組の課題や工夫・アクションについて意見交換

	数	割合
5 とても満足	52	32.50%
4 満足	62	38.75%
3 普通	42	26.25%
2 不満	2	1.25%
1 とても不満	2	1.25%

□【Q11. 今後開催するシンポジウムで、どのようなテーマを取り上げてほしいですか（自由記述）】 特に関答数の多いものは黄色マーカー対応、回答詳細は次シート参照

#	大項目	中項目	数（※1）
1	地域での先進事例（地域協議会を含む）	地域での取組事例全般（課題や地域等指定なし）（※2）	20
		具体的な対応事例等の実績	2
		具体的な困りごとや対応方法	1
		支援者支援	1
		発達障がい者支援	1
		不登校、引きこもり、LGBT、DV、困窮、疾患障がい、外国人、被災者支援等	1
		生活困難による自殺の防止へ向けた支援	1
		DV被害者支援	1
		ヤングケアラー支援	1
		民間団体と医療分野の連携事例	1
		世代を超えた連携事例	1
		民間企業との連携事例	1
		既存システムの活用事例	1
		議員数の少ない自治体での事例（県主導や広域地域の事例）	1
		都市部での事例	1
		北海道、札幌（自地域）での事例	1
		海外の事例	1
		主管部局の決め方	1
		庁内の巻き込み方	1
		県と市の連携の在り方	1
		民生委員の巻き込み方	1
2	重層等の既存政策との連携/棲み分け方	—	7
3	アウトリーチ支援事例	課題地域等指定なし（全般）	2
		精神医療分野での事例	1
4	ウェルビーイングとの関係の在り方	—	2
5	地域でのうまくいかなかった事例/対応策	—	2
6	生涯学習との連携の在り方	—	2
7	住民への周知方法	—	1
8	復興期の孤独・孤立対策の在り方	—	1
9	町内会/自治会との役割分担の在り方	—	1
10	組織内の統一方法	—	1
11	最終現場での具体的な対応	—	1
		（※1）1人が複数テーマを挙げている場合はそれぞれを1カウント要算	62
		（※2）第2回テーマの継続や深掘（自治体を中心となった地域での先進事例を紹介して引き続き紹介してほしい等）を求める7件を含む	

■令和5年度第1.2回事後アンケート結果からの示唆（案）

- ・引き続き、NPOや自治体関係者からは地域での先進事例の紹介が求められている（第1回事後アンケート回答者のうち77.9%、第2回同66.1%）。
- ・上記のうち最も多くは「事例をたくさん聞きたい」「じっくりと深く掘りて聞きたい」等、取組課題や自治体規模を問わない事例全般を求める声である（第1回上記割合のうち28.4%、第2回同48.8%）。しかし、ただ事例を紹介するだけでは横展開へ繋がるとは考えづらく、【NPOや自治体関係者が横展開に必要な（課題となっている）要素は何か】に焦点を充て、事例を選択/パネルディスカッションテーマを絞り込むことも一案ではないか。
- ・また第1.2回共通して、重層等の既存政策との連携/棲み分け方に関する要望も一定数確認している（第1回事後アンケート回答者のうち8.4%、第2回同11.3%）。第1.2回共に重層の取組自治体が登壇し、パネルディスカッションでもその旨にも触れたものの、具体的な連携/棲み分けに特化したディスカッション展開ではなかったため、本論点に特化したテーマも一案ではないか。

□【Q11. 今後開催するシンポジウムで、どのようなテーマを取り上げてほしいですか】 回答詳細（第2回シンポジウム）

#	年代	属性	Q11. 今後開催するシンポジウムで、どのようなテーマを取り上げてほしいですか。	Q12. その他、ご意見・ご感想などをお聞かせください。
1	50代	研究者	上手くいかなない官民連携の課題	成功事例の紹介も大事ですし、上手くいかなない官民連携のお話を楽しみにしています。
2	50代	自治体職員	既存システムの活用事例	大西さんの運び方が素晴らしいです。
3	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	全国の支援者の取組例など	今後ともよろしくお願いいたします。
4	40代	NPO法人に所属するボランティア	身内に障害者、誰もが自分の親の介護が気になる、友達にも孤立している人がいるなら中、グループホーム的な施設が作りたいと思っているのですが、国の使える制度などがありましたら、参考にしたいです。	とても勉強になりましたし、大西さんの進行もとても素晴らしかったですし、こう言った異分野の方が集結した瞬間、未来が切り拓かれるとはこういうことなのかなあととても先への希望が持てるものでした。ありがとうございました。
5	60代	その他団体（社団法人、財団法人、任意団体など）	地域の活動事例を引き続き紹介をお願いします。	
6	60代	その他団体（社団法人、財団法人、任意団体など）	発達障害者の一人暮らしを社会が支えることが可能なのか	仕組みは人の力、携わる人の心意気、生活を担保されている行政職が熱心であることは喜ばしいが、収入格差をもととせず行政職と肩を並べて頑張っている民間の方々へ拍手を送りたい。もっと頑張っている方々を金銭的に支援する形にして報いてもらいたい。
7	60代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	医療と民間の連携	
8	40代	自治体職員	モデル事業としてPFを立ち上げた自治体の実績	
9	50代	自治体職員	福祉と生涯学習（社会教育・学校教育・家庭教育・自己学習）との連携について	
#	60代	その他団体（社団法人、財団法人、任意団体など）	地域組織（民間）地縁団体と孤独孤立対策の役割について	時間の許す限り参加していきますので継続ください
#	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	具体的な事例紹介とその対応、その後の進捗について	
#	70代以上	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	DV被害を受けた女性、ヤングケアラーの支援	今後このような機会がありましたら参加したいと思います
#	70代以上	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	最終現場での具体的な対応	
#	60代	自治体職員	重層的支援との連携事例	
#	50代	市議会議員	地域づくりの側面からの登壇者や自治体事例を期待します。 社会教育や民間企業の参画・実践の好事例の紹介も希望します。	今回のシンポジウムについて、 地方自治体からは、福祉部局の参加に留まっているのではないかと、我が市の状況を確認してみたいと思います。 後日 視聴もできるとのことです。喜んでいきます。
#	50代	勤務医（精神科医）	北海道、札幌市での具体的な取り組みを知りたいです。	
#	50代	自治体職員	孤独・孤立対策官民連携プラットフォームの具体例などが知りたいです。それに対する国の対策、支援の具体策なども。	今回、初めてこうしたシンポジウムに参加しました。地域福祉は福祉部局だけでなく、自治体の様々な部署や民間の連携のもと、地域住民が主体的に課題を「知る」ことが必要だと思います。地域での人材育成の視点も必要だと思うので、 <u>各々の機能が上手くいかせばいいな</u> と思いました。
#	50代	なし	多死社会とウェルビーイング	できれば平日でなく土日開催にいただけると参加しやすいので助かります
#	60代	その他団体（社団法人、財団法人、任意団体など）	孤独孤立対策としての精神科医療におけるアウトリーチ	全国の行政と民間が同じ土俵において検討するのを視聴できるネット社会に感謝します。
#	50代	地方議員	職員の少ない自治体での進め方。広域、県主導の好事例	山本室長の力強さと温かい発言に心打たれます。
#	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	計画に明記されているように、孤立・孤独状態と想定される人たちは、不登校、引きこもり、LGBT、DV、困窮、疾患障がい、外国人、被災者、などでしょうかから、それぞれに対する具体的な取り組みを知りたいです。	応援しております。
#	60代	自治体職員	プラットフォームの実際。困った事、難しくて工夫を要した所。	天照大御神を天岩戸から出すにはみーんなで踊りなさい、と言うことでしょうか？日本の教育改革を今の社会に合うように変える方が近道ではないのでしょうか。今の時代は便利すぎて誰とも会わなくても生きて行けるので、孤立はなくならないと思います。
#	50代	専門学校教員	具体的なアウトリーチの事例	官民連携プラットフォームに、福祉を学ぶ専門学校の学生が参画し孤独孤立問題と一緒に取り組む役割はないだろうかと思い今回の研修に参加した。まずはこの法律が動き出すこと、プラットフォーム、協議会が何であるか知ることができたため、地域の社協ともこの事を話題に加えながら、学生も巻き込んで行動できればと考えた
#	40代	自治体職員	もう少しじっくりと各自治体の取り組みや地域での連携の様子を知りたい	
#	40代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	支援団体の具体的な取り組みとアウトリーチの事例紹介	

□【Q11. 今後開催するシンポジウムで、どのようなテーマを取り上げてほしいですか】 回答詳細（第2回シンポジウム）

#	年代	属性	Q11. 今後開催するシンポジウムで、どのようなテーマを取り上げてほしいですか。	Q12. その他、ご意見・ご感想などをお聞かせください。
#	70代以上	その他団体（社団法人、財団法人、任意団体など）	先進地事例の紹介をお願いします。	特になし
#	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	今回のテーマの継続も希望する。他にも特色ある取組みがされている地域があるなら聞いてみたい。	尾道市と熊本市の事例を見て、官民連携では『官』の中に熱意のある人とその人をバックアップする職場環境があるかどうかが重要なポイントだと感じた。行政だけでは回らない状況の中で、善意で活動している『民』の力を積極的に利用（いい意味で）し巻き込んで行く流れが広まることを強く願う。
#	50代	自治体職員	重層をはじめとする関連事業との連携	特になし
#	70代以上	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	連絡協議会の運営が知りたい	連絡協議会に「地域に密着した民生委員」の参画を期待している
#	70代以上	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	組織のなかで、世代間がつながるために、1番必要なことは、なになのか？かだいは、何か。	
#	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	住民への周知を図る必要がある	
#	50代	自治体職員	孤独・孤立対策など、今後も新たな政策における先進地自治体の事例などを希望します。	この視聴の機会があったため、孤独・孤立対策についてあらためて考えることができました。ありがとうございました。
#	50代	自治体職員	協議体の具体的な先進事例	個人的には、協議体を設けるだけでは解決せず、孤独・孤立の対象者については複合的な要因を持つものも多いため、具体的なイニシアティブをとる所管課がわかりにくい。また、一般市では県の保健所との連携も必要と思えるが、県の動きがまったくわからないところが不安材料。一般市では、県とのつながりがなければ、予算も含めて、動きがとりにくい。
#	40代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	今回のような内容で、他の自治体の取組みも発表していただけたらと思います。	特になし
#	30代	自治体職員	今回のような、孤独・孤立対策に取り組まれている実質的なところを学ぶことができる機会があれば、大変ありがたいところであると感じております。	この度は、お忙しい中貴重な学びの機会を設けていただきまして、ありがとうございます。
#	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	行政・社協・NPOが協働や伴走支援を行っている事例を深掘りしたい	私の暮らす近隣の市町村の行政でも生活困窮者等に対する取り組みに温度差があります。財政や職員の「力量」にもよるのですが、弱い部分は社協やNPOと協力・協働することである一定の生活支援や相談支援ができるだけの水準を確保する必要があると考えさせられました。
#	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	制度と地域福祉活動について	特になし
#	60代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	各地方自治体の事例報告。	
#	30代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	災害時・復興期に求められる孤独・孤立対策、世代を超えた（世代ごとの縦割りでない）取り組み、海外各国での現状・事例について	いつもご案内をありがとうございます。
#	30代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	先進地の取り組みを知りたいです。	行政や社協から今回のシンポジウムの情報がなく、SNSで知りました。SNSでの情報発信が有効だと感じました。今後も情報収集に努めます。
#	60代	その他団体（社団法人、財団法人、任意団体など）	官民連携プラットフォームの様々な例、またこの課題への実践がどのような地域活動を創出しているか等、全国の具体的な事例をお聞きできると嬉しいです。	
#	60代	その他団体（社団法人、財団法人、任意団体など）	年末年始の相談ダイヤルでも、本当に困難な問題を抱えている方が多いことがわかります。特に生活困窮による自死を防ぐようなテーマでも参加したいと思っています。	今後、各県での支援体制構築は難しいという思いがあります。ですからこそ地方ごとの連携体制が望まれると思います。
#	50代	自治体職員	重層事業との住み分けなど具体的な取り組み事例の紹介	
#	60代	その他団体（社団法人、財団法人、任意団体など）	特になし	
#	60代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	孤独・孤立対策と重層的支援体制整備事業の関係性について	
#	40代	自治体職員	各自治体がどのようなプラットフォームを設立しているかを取り上げてほしいです。	
#	60代	自治体職員	※特に重層的支援体制整備事業の協議体との関係性 孤独・孤立対策は、庁内全体に関わることから、「理事者を含めた庁内の理解を得るためには」をテーマとしてほしい。	
#	50代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	官民連携を各自治体が、実際に取り組めるやり方を教示いただけるような、テーマのシンポジウムを開催いただきたいです	
#	60代	研究者	プラットフォームと協議会の取り組み例をたくさん知りたい	
#	40代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	今回のような、各市町村での具体的な取組みを知りたいです。うまくいっているところですが、うまくいかない市町村での取組みを取り上げてもらって、どのようにすれば取組みが進むのか、ディスカッションするのでもいいのではと思います。	

□【Q11. 今後開催するシンポジウムで、どのようなテーマを取り上げてほしいですか】 回答詳細（第2回シンポジウム）

#	年代	属性	Q11. 今後開催するシンポジウムで、どのようなテーマを取り上げてほしいですか。	Q12. その他、ご意見・ご感想などをお聞かせください。
#	60代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	種々の具体例を知りたい	
#	30代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	令和6年4月以降、推進法の具体的な取り組みが出てくるかと思いますが、今回の様に、ざっくりばらんに様々な実践をうかがえると、助かります。	
#	60代	自治体職員	今回のテーマを掘り下げても良いのでは	
#	40代	自治体職員	現状と課題 他事業でのプラットフォームとの関係	社会福祉法で重層的支援と言っているが、全てを取り込んで1つのプラットフォームとなると良いと思います。 特に小さい自治体や余力のない自治体は負担が大きいのと感じます。
#	40代	自治体職員	自治体によって実情が異なるのは承知しているが、都市部でどのようにやっていくのか具体的方策やアドバイスがあれば知りたい。（都市部とそれ以外では組織の大きさや民間団体との関わり方などかなり大きく異なっていることから）	
#	60代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	孤独・孤立対策と、それぞれのウェルビーイングの在り方を深堀していただきたいです。	当日、業務等で集中して拝聴出来ず、アーカイブ大変有難かったです。ありがとうございました。
#	50代	自治体職員	孤独・孤立分野全般の研修や先進自治体の具体的な取組事例の紹介	
#	60代	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	全国の現場で行われている事例を取り入れて発表してほしい。	総論的な孤独・孤立から、子育て世代・若者・中高年・高齢者・終末期などの年代別、段階別で事例と議論を展開していただきたい。
#	30代	自治体職員	今回同様の内容について、引き続き定期的に取り上げてほしい。	

Q. 今後開催するイベントで、どのようなテーマを取り上げてほしいですか。

区分	年代	性別	お住まいの都道府県	ご自身の属性	属性（変換）	会員区分	今後開催するイベントで、どのようなテーマを取り上げてほしいですか。	カテゴリ①	カテゴリ②	カテゴリ③	カテゴリ④	カテゴリ⑤
R5総会	40代	男性	東京都	民間企業	民間企業	会員	加盟団体同士が情報交換出来たら、コラボレーションできる会や仕組みを組んでほしい。					
R5総会	40代	女性	和歌山県	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	会員	福祉×〇〇、いろんな分野の取組を知りたい。	取組み事例紹介				
R5総会	30代	男性	宮城県	自治体職員	自治体職員	会員	地方版孤独・孤立対策プラットフォームの先進事例の取り組み	取組み事例紹介				
R5総会	50代	女性	大阪府	自治体職員	自治体職員	会員	具体的な取組、孤独・孤立対策の効果・成果	取組み事例紹介				
R5総会	50代	女性	兵庫県	その他団体（社団法人、財団法人、任意団体など）	その他団体（社団法人、財団法人、任意団体など）	会員	私達はヨガの受け入れを探していますが（オンライン）はなかなか難しいのでマッチングとか					
R5総会	40代	男性	神奈川県	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	会員	社会的養護経験者など、親を頼れない若者達の自立後の孤立など。協力できると思います。	若者支援				
R5総会	60代	女性	東京都	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	会員	今は、思いつきません					
R5総会	20代	女性	愛媛県	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	会員	事例紹介とその解説（今回のような形）	取組み事例紹介				
R5総会	60代	男性	東京都	その他団体（社団法人、財団法人、任意団体など）	その他団体（社団法人、財団法人、任意団体など）	非会員	孤独・孤立者の実態ドキュメントや行政とのやり取り・・・対策にあたって現場では何か問題となっているのか。					
R5総会	30代	男性	福岡県	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	会員	①孤独死・孤立死がなぜダメなのか教えてほしい。 ②孤独・孤立から猫の多頭飼育崩壊（本人は猫に対する愛情はあるが、動物虐待の状態である）になり、近隣住民が糞尿や悪臭で困っているケースの対応方法を教えてほしい。動物愛護管理センターへ連絡し訪問してもらっても、指導のみで進展がない。	孤独死・孤立死				
R5総会	60代	男性	大阪府	その他団体（社団法人、財団法人、任意団体など）	その他団体（社団法人、財団法人、任意団体など）	会員	自治会・町内会加入率低下にまつわる孤独・孤立のひきこもりの実態	ひきこもり支援				
R5総会	40代	男性	鹿児島県	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	会員	僻地や過疎地での活動報告など					
R5総会	70代以上	男性	佐賀県	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	会員	行政の窓口での対応の状況について					
R5総会	70代以上	女性	秋田県	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	会員	ねらいとした人に、情報をどう伝えるか。					
R5総会	60代	男性	福井県	その他団体（社団法人、財団法人、任意団体など）	その他団体（社団法人、財団法人、任意団体など）	会員	（すぐには思いつきません）					
R5総会	50代	女性	岐阜県	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）	会員	NPO法人と行政や社協、社会福祉法人等が連携した取り組みと工夫したことについて	連携事例				
R5総会	60代	その他	神奈川県	その他団体（社団法人、財団法人、任意団体など）	その他団体（社団法人、財団法人、任意団体など）	会員	イオンリテールのように、民間における事例紹介、運営資金の調達方法など	民間事例	資金調達			
R4第4回	40代	男性	岐阜県	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）		若年層の10代から20代の相談はどう言った内容のものが多いのかという年齢層での悩みの実態や、緊急性の高い相談にはどこに相談したらいいかという地域に拘らず相談しやすい環境を造るには何をテーマにしていたかと思えます。 日本人はその特性から人を助けることには抵抗なく出来る人が多いが、いざ自分のこととなると「たった4文字のたすけて」が言えない。自分で何とかしよう、まだ大丈夫と思っている間に環境が悪化してしまうケースが多いような気がします。	若者支援				
R4第4回	50代	女性	埼玉県	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）		事例	取組み事例紹介				
R4第4回	50代	女性	神奈川県	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）		実際の居場所作りの実践について の官民の協力体制とその可能性	地域づくり	連携事例			
R4第4回	50代	男性	北海道	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）		皆様大学の方や公務員だったような気がします。 民間での成功事例やその辺が聞きたいです	民間事例				
R4第4回	60代	男性	兵庫県	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）		このテーマは続けてほしい					
R4第4回	30代	男性	岐阜県	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）		行政との連携の仕方や作法、特に行政側の事情をよく知りたい	連携事例				
R4第4回	40代	女性	大阪府	自治体職員	自治体職員		今回のパネリストの方々の話をもっと聞きたいです					
R4第4回	60代	女性	東京都	報道	その他		今回のパネリストカッションで学べた論点を、深く掘り下げるもの。特に、行政と民間の連携の話の中で、行政の人事の問題や何やら出てきたと思いますが、行政のあり方を問う、どう変えたらいいのか、どういう策が可能なのか、行政側の悩みも知りたいし、みんなで考える場があるといいと思います。	連携事例				
R4第4回	50代	女性	広島県	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）		地域が元気になるために何ができるか。					
R4第4回	20代	男性	鹿児島県	自治体職員	自治体職員		今回、最後の質問に答えるコーナーがとても参考になりました。質問にあった、「自治体の電話対応の苦慮」について、多くの自治体、パネリストが困っていることがわかり、自分の所属する自治体だけの悩みではないことが分かり安心しました。幅広いテーマでパネリストカッションを行うのもよいですが、今回の「自治体の電話対応の苦慮」についてテーマ設定して欲しいと思いました。					
R4第4回	30代	男性	愛知県	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）		障害者の孤独・孤立	障がい者支援				

Q. 今後開催するイベントで、どのようなテーマを取り上げてほしいですか。

区分	年代	性別	お住まいの都道府県	ご自身の属性	属性(変換)	会員区分	今後開催するイベントで、どのようなテーマを取り上げてほしいですか。	カテゴリ①	カテゴリ②	カテゴリ③	カテゴリ④	カテゴリ⑤
R4第4回	40代	女性	岐阜県	自治体職員	自治体職員		今回のテーマで「相談支援にかかる実務的な相互連携の在り方について」で検討され、うちの自治体だけの課題では無いんだと知ることができた。(今まででは当時の支援者の力量が無くてできていないと思っていた)。逆に言えば全国どの自治体も同じ課題を抱えているのなら、国で1つ制度をつくれれば解決することだと思った。自治体はそれに乗っかれは良い。その制度づくりのため、もっと時間をかけて検討し、広く周知してほしい課題であると思う。正直、今現在一番困っている課題で、早急な解決が一人でも多くの人を救うことになると思う。					
R4第3回	50代	女性	静岡県	自治体職員	自治体職員		幅が広くて関心のあるものの差があります。細かに分けたテーマでの開催を望みます。					
R4第3回	60代	男性	東京都	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人など)	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など)		ひきこもり	ひきこもり支援				
R4第3回	60代	男性	宮城県	研究者	研究者		当事者がどのように感じているのか、どんな支援を望むのかも知りたい。	当事者の声				
R4第3回	50代	男性	神奈川県	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人など)	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など)		異なるセクターからの個別対応事例について比較し、連携を考えてみてはどうでしょうか？	連携事例				
R4第3回	60代	男性	兵庫県	民間企業・その他団体職員	民間企業		事例と達成目標	取組み事例紹介				
R4第3回	50代	男性	東京都	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人など)	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など)		ひきこもり、地域の支え合い、フードシリーズ(パンク、ドライブ、ハントリー)	ひきこもり支援				
R4第3回	60代	無回答	東京都	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人など)	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など)		全国民に共通する人権の啓蒙と国民の保証されるべき最低基本資金(衣食住生命維持の保証)について、資本主義社会の自由主義による限界から見えてくる支援の限界について、お願いします。					
R4第3回	70代以上	女性	熊本県	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人など)	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など)		若い世代への先進的な取り組み	若者支援				
R4第3回	60代	女性	宮城県	民間企業・その他団体職員	民間企業		具体例を挙げて欲しい。	取組み事例紹介				
R4第3回	50代	男性	岐阜県	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人など)	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など)		孤独・孤立対策事業と重層的支援事業・生活支援等の背景との連動(取組み)	重層支援				
R4第3回	40代	女性	京都府	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人など)	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など)		テーマについては一言では思いつきませんが、今回のような、各セクションはあるものの相互作用するようなお話がうかがえるような話題が関心ありますし、モデルケースとして派生していくきっかけにもなるような気がします。					
R4第3回	40代	男性	香川県	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人など)	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など)		今後、具体的な国の政策動向や地方への働きかけが市町村域の支援者へどう影響していくか					
R4第3回	70代以上	男性	大阪府	研究者	当事者		分科会の報告や視聴者からの意見への回答を引き続き実施してほしい					
R4第3回	40代	女性	千葉県	会計士	民間企業		うつ病、統合失調症、パーソナリティ	精神疾患				
R4第3回	60代	男性	福岡県	自治体職員	自治体職員		地産地消の既存事業とのつながり					
R4第2回	30代	女性	沖縄県	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人など)	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など)		外国人、オンラインなど通信情報が届きにくい世代へのアプローチ	外国籍支援				
R4第2回	30代	男性	京都府	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人など)	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など)		NPO団体との具体的連携	連携事例				
R4第2回	40代	男性	大阪府	自治体職員	自治体職員		DV	DV支援				
R4第2回	60代	女性	北海道	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人など)	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など)		限られた時間ですが、包摂する社会の方向性と政策側の意図がわかるもの					
R4第2回	40代	男性	福井県	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人など)	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など)		今回の話をどんどん掘り下げていって欲しい。					
R4第2回	50代	男性	東京都	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人など)	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など)		ひきこもり、生活困窮支援(フードパントリー等)、重層的支援体制整備事業と企業との連携	ひきこもり支援	生活困窮者支援	重層支援		
R4第2回	40代	女性	兵庫県	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人など)	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など)		ひきこもり支援	ひきこもり支援				
R4第2回	60代	女性	京都府	社会福祉士	その他		育児支援					
R4第2回	50代	男性	京都府	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人など)	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など)		多様な家族構造の実態(現実実態)について。	連携事例				
R4第2回	40代	男性	東京都	当事者	当事者		全ての人の幸福度が上がり、誰も取り残さないためには、どんな社会構造を構築する必要があるか					
R4第2回	60代	女性	大阪府	ひきこもり家族会(NPO法人)	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など)		官民連携のとりくみは、地域格差が大きい。その実態を把握、分析し、住んでいる所にかかわりなく、助けを求められるような工夫をしていくにはどうしたらいいのか。	連携事例				
R4第2回	70代以上	男性	埼玉県	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人など)	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など)		孤独・孤立の当事者の発言	当事者の声				
R4第2回	40代	男性	島根県	自治体職員	自治体職員		孤独・孤立している親への取り組みについて取り上げていただきたいです。	子育て支援				
R4第2回	50代	男性	神奈川県	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人など)	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など)		アウトリーチも行う総合相談において、孤独・孤立に関わる支援の出口の多くは、クライアントを個別化したうえで、強みが発揮できる家族や社会における「人生レベルの役割・居場所」であることが多いため、特にコミュニティにおいて孤立状態にある人への役割づくりに関する事例を聞いてみたいです。	取組み事例紹介				
R4第2回	60代	女性	鳥取県	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人など)	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など)		若者支援のためにどんなツール(SNS等)を使って相談を受けているのか？	若者支援				
R4第2回	50代	男性	福岡県	自治体職員	自治体職員		孤独・孤立を他の分野と分けて考える必要性があるのか、何が予防に繋がるのか、そもそも孤独・孤立の定義を定めることや孤独死等の言葉の定義を定めることはできないのか等	予防取組み				
R4第2回	50代	男性	埼玉県	自治体職員	自治体職員		Well-Being(幸福学)や宗教家、哲学者、心理学者や今回のような活動家と一緒に介した孤独孤立に関するシンポジウムはどうでしょうか。(マイナス・プラスのプラスの部分)					
R4第2回	40代	男性	兵庫県	自治体職員	自治体職員		宮本先生がお話していた資源不足への取り組み方について					
R4第2回	40代	女性	福岡県	民間企業・その他団体職員	民間企業		外国にルーツのある住民の孤独・孤立に関する支援について	外国籍支援				

Q.今後開催するイベントで、どのようなテーマを取り上げてほしいですか。

区分	年代	性別	お住まいの都道府県	ご自身の属性	属性（変換）	会員区分	今後開催するイベントで、どのようなテーマを取り上げてほしいですか。	カテゴリ①	カテゴリ②	カテゴリ③	カテゴリ④	カテゴリ⑤
R4第2回	40代	男性	京都府	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）		子育て世代の親の孤独・孤立に関心があるので、そのようなテーマを取り上げてほしいです。	子育て支援				
R4第2回	40代	男性	千葉県	自治体職員	自治体職員		根本は、道徳教育に関心と思っています。文科省の積極的関与を期待しています。					
R4第2回	60代	男性	東京都	研究者	研究者		自殺予防の問題と貧困や生活保護などを分けてシンポジウムを企画してほしいと思った。	自殺対策				
R4第2回	30代	女性	東京都	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人など）	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）		これから地域版プラットフォームも発足されるとのことで、地域性を反映した問題・取り組みの現状も知りたいと思いました。	取組み事例紹介				
R4第2回	50代	女性	埼玉県	市議会議員	その他		高齢者の孤独対策も取り上げてほしい。	高齢者支援				
R4第1回	30代	男性	福岡県	会社員	民間企業		支援につながる人とのつながり					
R4第1回	20代	女性	愛知県	公務員	自治体職員		もう少し若者の視点でディスカッションする時間がほしい	若者支援				
R4第1回	60代	男性	岡山県	公務員	自治体職員		30才を超えた人たちのひきこもり支援	ひきこもり支援				
R4第1回	60代	男性	北海道	公務員	自治体職員		今回のパネルディスカッションをもっと長い時間で聞いてみたい。					
R4第1回	40代	男性	茨城県	研究者	研究者		おおむね対象の主体はローカルに存在するはずで、ローカルな活動を中央でネットワーク化することの意義（政策的意義、社会的意義、政治的意義）をもっと見せてほしい。					
R4第1回	20代	女性	香川県	会社員	民間企業		孤独孤立の人々には、どこに／どうやってアプローチすればいいか（支援したいがたどりつけない）					
R4第1回	40代	男性	岐阜県	公務員	自治体職員		官と民でできることの整理					
R4第1回	50代	男性	東京都	団体職員	その他団体（社団法人、財団法人、任意団体など）		継続して官民連携の取り組みを身近なところ些細なことから取り上げてほしい					
R4第1回	50代	男性	京都府	会社員	民間企業		続けてほしい					
R4第1回	50代	女性	愛知県	パート・アルバイト	その他		ヤングケアラーの実態調査と今後の支援策・支援員の拡充	ヤングケアラー				
R4第1回	30代	女性	埼玉県	団体職員	その他団体（社団法人、財団法人、任意団体など）		行政の具体的な活動及び、その成果について。					
R4第1回	30代	男性	埼玉県	会社員	民間企業		孤独孤立が起こる原理					
R4第1回	40代	女性	千葉県	会社員	民間企業		孤独孤立をテーマに世界との対比。官民の未来の展望					
R4第1回	20代	男性	大阪府	会社員	民間企業		集合住宅における孤立・孤独 近所付き合い、コミュニティ形成支援	地域づくり				
R4第1回	50代	女性	東京都	中間支援センター	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）		若い方の孤独孤立の話を事例をリアルに学び、年齢の高い大人や行政、社協が何ができていて、何ができていないのか？など、具体的に整理して深めたい。	若者支援				
R4第1回	40代	男性	熊本県	会社員	民間企業		居場所づくり、活躍支援の場づくり、地域でのプラットフォーム構築について	地域づくり				
R4第1回	20代	無回答	岡山県	会社員	民間企業		予防的な観点にたった取組事例の紹介や、今後の予防的取組のポイントなどに関するディスカッション	予防取組み				
R4第1回	70代以上	男性	滋賀県	無職	なし		ヤングケアラーなどのテーマをお願いします	ヤングケアラー				
R4第1回	50代	女性	大阪府	主婦	その他		障害者の親なきあと問題。引きこもりの親なきあと問題	障がい者支援	ひきこもり支援			
R4第1回	50代	女性	北海道	フリーランス	その他		今回のパネルディスカッションの内容をもっと時間を取って深めていただきたい					
R4第1回	40代	男性	愛知県	公務員	自治体職員		地域等を巻き込んだ孤独・孤立者の発見方法（発見さえできれば支援につなげることができる）					
R4第1回	60代	女性	兵庫県	会社員	民間企業		一つのテーマをじっくりやってほしい					
R4第1回	20代	女性	青森県	公務員	自治体職員		今回は幅広い分野で活動されている方々によるパネルディスカッションでしたが、「ひきこもり」「SNS相談」「子ども貧困」など各分野に特化したテーマでの官民シンポジウムも興味があります。	ひきこもり支援	SNS相談	若者支援		
R4第1回	50代	男性	新潟県	会社員	民間企業		孤独・孤立者の生活実態					
R4第1回	40代	女性	茨城県	団体職員	その他団体（社団法人、財団法人、任意団体など）		・ネット（特にSNS）と孤独・孤立に関すること	SNS相談				
R4第1回	60代	男性	茨城県	個人事業主	その他		中山間地域の高齢化したところの意見も取り入れた方がよい。	高齢者支援				
R4第1回	40代	男性	静岡県	公務員	自治体職員		現場の声をたくさん聞きたいです。	取組み事例紹介				
R4第1回	30代	女性	東京都	NGO職員	その他団体（社団法人、財団法人、任意団体など）		せっかくの新しい取り組みでもあり、外国ルーツの人たちやLGBTQ／SOGI、ひとり親など多様な家族の在り方など、国の他の枠組みでは取り残されがちな人々・テーマにおける孤独・孤立の問題も含めていただけたらと思います。また、私自身は東京在住ですが、地方ならではの課題も気になっています。シンポジウムのどこかで政策参加の西さんにも意見を聞きたい。子どもの孤独・孤立についても（こども家庭準備室と共同で）取り上げていただきたいです。	外国籍支援	LGBTQ			
R4第1回	50代	女性	福島県	団体職員	その他団体（社団法人、財団法人、任意団体など）		行政と民間の協働の事例を聞きたいです。	連携事例				
R4第1回	60代	女性	大阪府	団体職員	その他団体（社団法人、財団法人、任意団体など）		駒村康平さんの本日の話を、しっかりと聞いてみたい					
R4第1回	50代	男性	千葉県	会社員	自治体職員		ターゲットを絞って再度開催いただきたい。パネリストは多ければ良いというわけではない					
R4第1回	70代以上	男性	東京都	無職（高齢者であるが、ささやかなボランティア活動をしている）	なし		やはり孤独・孤立から生じる多くの事態を解決できる方策を提案してもらいたい。そしてそれが現実的な政策に反映できることにつながるような建設的シンポジウム	自殺対策	孤独死・孤立死			
R4第1回	40代	男性	徳島県	公務員	自治体職員		自殺対策と孤独孤立の関係性。孤独死を防ぐ取組み。					
R4第1回	60代	男性	福岡県	無職	なし		孤独・孤立から抜け出した人の転機について体験者からの報告を聞きたい	当事者の声				
R4第1回	40代	男性	三重県	団体職員	その他団体（社団法人、財団法人、任意団体など）		各団体が行っている多様な活動紹介。	取組み事例紹介				
R4第1回	50代	男性	北海道	会社員	民間企業		事例発表があるとうれしいです。	取組み事例紹介				
R4第1回	60代	女性	岐阜県	公務員	民間企業		「個」への対応や、当人が困り感のない支援を拒否する人への対応について					
R4第1回	40代	女性	東京都	会社員	民間企業		同じテーマで、パネリスト同士が語り合う時間を長めにとってほしいです。					
R4第1回	50代	男性	三重県	公務員	自治体職員		悪い当たりません。					
R4第1回	20代	女性	静岡県	会社員	民間企業		国の課題や背景を踏まえた先駆的な活動を行っている法人の話を継続して聞きたいと思いました。その他に、シンポジウムを聞いた上でやシンポジウムの話を事前に把握し（事前資料の提供等から）、支援者側のオンライン上（対話やメールでも形は様々）で質疑応答が可能になれば、国全体での課題共有・解決に繋がると思いました。					
R4第1回	20代	男性	京都府	公務員	自治体職員							
R4第1回	20代	男性	香川県	公務員	自治体職員		行政の範囲でできることや行政と関係機関の連携等について	連携事例				
R4第1回	40代	女性	埼玉県	公務員	自治体職員		孤立・孤独対策に資した居場所等の利用者のお声を聴く機会があればいいと思います	当事者の声				
R4第1回	40代	男性	千葉県	公務員	自治体職員		公共福祉について					
R4第1回	70代以上	男性	神奈川県	無職	なし		孤独、孤立の負でない面					
R4第1回	40代	女性	新潟県	社協	支援関係者（NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など）		官民の連携した孤独孤立の実際の取り組み事例について	連携事例				
R4第1回	20代	女性	香川県	会社員	民間企業		若者（学生含む）の孤独孤立について	若者支援				
R4第1回	20代	男性	愛媛県	公務員	自治体職員		パネルディスカッションの中でも触れられたが、行政に求める役割について関係団体からの品のない意見を聞きたい。					

Q. 今後開催するイベントで、どのようなテーマを取り上げてほしいですか。

区分	年代	性別	お住まいの都道府県	自身の属性	属性(変換)	会員区分	今後開催するイベントで、どのようなテーマを取り上げてほしいですか。	カテゴリ①	カテゴリ②	カテゴリ③	カテゴリ④	カテゴリ⑤
R4第1回	50代	無回答	東京都	NPO職員	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など)		官民連携の実践と課題	連携事例				
R4第1回	50代	男性	京都府	宗教関係者	その他							
R4第1回	40代	女性	愛知県	団体職員	その他団体(社団法人、財団法人、任意団体など)		若者支援についての取り組み	若者支援				
R4第1回	30代	男性	愛知県	会社員	民間企業		地域の特性を活かした食堂やカフェなどの交流場所の取組	地域づくり				
R4第1回	40代	女性	千葉県	公務員	自治体職員		自治体が全庁的に実施している孤独・孤立対策					
R4第1回	40代	女性	東京都	会社員	民間企業		10代の孤立・孤独支援、また中高年(退職者含む)の孤立・孤独支援	若者支援				
R4第1回	30代	女性	沖縄県	公務員	自治体職員		人によって違うと思いますが、孤立・孤独の方に具体的にどのような支援を行い、支援がうまくいった例を知りたいです。例えば、話を聞いてもらえる場所が見つかれば終結なのか、社会参加までを目標とするべきなのかなど。当事者はどんな支援を求めているのかも知りたいです。	当事者の声				
R4第1回	70代以上	女性	鹿児島県	社会福祉法人代表者	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など)		孤独死が増えている。地域の身寄りのない独居高齢者をテーマに取り上げて欲しい。	孤独死・孤立死	高齢者支援			
R4第1回	20代	女性	青森県	公務員	自治体職員		孤独孤立を感じている人にどんな対応をすればいいのか。どんな行政が求められているのか。					
R4第1回	40代	男性	三重県	会社員	民間企業		自治体での取り組み状況など。					
R4第1回	40代	男性	岡山県	公務員	自治体職員		高齢者の孤独・孤立について	高齢者支援				
R4第1回	70代以上	男性	福井県	民生委員	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など)		ヤングケアラーの実態	ヤングケアラー				
R4第1回	20代	男性	千葉県	社会福祉協議会	支援関係者(NPO法人、社会福祉法人、民生委員・児童委員など)		孤独・孤立から立ち直った当事者の話や、ゲートキーパーとして実際に活動されているかたの話を聞けるような機会があると面白いと思う。	当事者の声				
R4第1回	30代	男性	秋田県	会社員	民間企業		自殺対策	自殺対策				
R4第1回	20代	女性	愛知県	公務員	自治体職員		15歳以下の子どもも含めた、子ども・若者への孤立について焦点をあてたテーマを取り上げていただきたいです。	若者支援				
R4第1回	50代	女性	千葉県	公務員	自治体職員		20~30代の孤独孤立の背景と取り組み・重層事業との連携	若者支援	重層支援			
R4第1回	40代	男性	大阪府	団体職員	その他団体(社団法人、財団法人、任意団体など)		孤独孤立の本質と対処方法。相談機関ではなく、コミュニティについて					
R4第1回	40代	女性	愛知県	公務員	自治体職員		官民の連携事例などをもっと知りたい。	連携事例				
R4第1回	50代	女性	岡山県	会社員	民間企業		ひきこもりと地域のつながり・役割・連携。具体的な解決例。	ひきこもり支援				
R4第1回	70代以上	男性	岡山県	キャリアコンサルタント	その他		野田担当大臣があいさつだけでなく、真の想いを聞きたい					
R4第1回		女性	新潟県	公務員	自治体職員		法整備とともに、全国的に相談体制が充実するひきこもり支援について、効果的な体制等をお聞かせください。(ひきこもり支援は当事者支援・家族支援のみではなく、さまざまな専門機関とのネットワーク作り・地域資源の創出など多岐にわたるため)	ひきこもり支援				
R4第1回	50代	女性	富山県	公務員	自治体職員		民間の機関と行政が連携して取り組んだ事例や事業などの紹介	民間事例				
R4第1回	30代	男性	青森県	公務員	自治体職員		孤立・孤独を感じる方への就労支援					
R4第1回	40代	女性	静岡県	団体職員	その他団体(社団法人、財団法人、任意団体など)		家から出られない方へのアプローチの仕方や家族支援について	ひきこもり支援				
R4第1回	40代	男性	福井県	公務員	自治体職員		様々な要因を織り込むと焦点がぼやけるため、自殺等の個々のテーマに絞るべき	自殺対策				
R4第1回	30代	女性	千葉県	公務員	自治体職員		孤独孤立関係の相談窓口を一本化している自治体の事例	取組み事例紹介				
R4第1回	30代	男性	千葉県	公務員	自治体職員		自治体の取組	取組み事例紹介				
R4第1回	40代	男性	宮城県	会社員	民間企業		プラットフォームの具体的な連携事例等の紹介	連携事例				
R4第1回	50代	女性	鳥取県	公務員	自治体職員		新しい活動の話は大変興味深いです。時には当たり前に見えて細やかな工夫や小さな変化を続けているような地味な活動についてのシンポジウムがあってもよいのかなと思います。					
R4第1回	50代	男性	宮城県	町議会議員	その他		孤独・孤立対策と重層的支援体制整備事業の連携について	重層支援				
R4第1回	40代	無回答	大阪府	自営業	その他		分野や地域を横断した取り組みの実践報告	取組み事例紹介				